Super Audio CD & DVD Audio/Video Player

DPS-6.7

取扱説明書

Integra

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

主な特長

■DVDオーディオ、スーパーオーディオCDにも対応、ユニバーサル仕様のDVDプレーヤー
■CPRM技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）にも対応
■MP3、WMA、JPEG、DivXファイルフォーマット対応
■HDMI出力端子装備
■DVD-R/RWをはじめとする多彩なディスクに再生対応
■よりなめらかな高画質再生を実現（プログレッシブスキャン回路）
■DVDビデオの信号を高分解能で処理（108MHz/14bitビデオD/Aコンバーター）
■ドルビーデジタル/DTSデコーダー搭載
■停止後に「続き再生」できるリジューム機能。前に見たディスクの続きを再生できるラストメモリー機能
■5.1chアナログマルチチャンネル出力端子装備

*

Windows Media、Windowsのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*** 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
"DTS"、"DTS Digital Surround"は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。

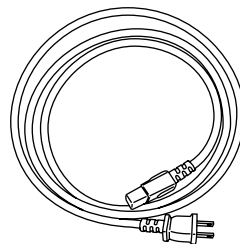
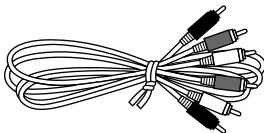
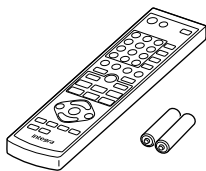
**** HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

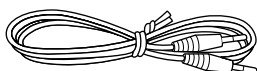
付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
〔　〕内の数字は数量を表しています。

- リモコン(RC-658DV)〔1〕
- 単3乾電池〔2〕

- オーディオ・ビデオ用ピンコード(1.5m)〔1〕
  アナログ音声および映像を送るコードです。

- 電源コード(2.0m)〔1〕

- RIケーブル(1.8m)〔1〕
  RI端子付きインテグラ/オンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
  (RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。)

- 取扱説明書(本書)〔1〕
- 保証書〔1〕

目次

はじめに

主な特長 2
付属品を確認する 2
目次 3
オーディオ機器の正しい使いかた 4
ディスクについての予備知識 8
本体、リモコンボタンの名前と働き 12
- 前面パネル 12
- 表示部 13
- リモコン 14
- 後面パネル 16

リモコンを準備する 17
- 乾電池を入れる/リモコンの使いかた 17

接続をする

接続をする 18
- 映像/音声ケーブルと端子の種類について 18
- 接続の前に 19
- 接続のしくみ 19
- 映像出力の設定について 20
- 音声出力の設定について 20
- テレビと接続して楽しむ 21
- テレビにコンポーネント入力端子があるとき/テレビにSビデオ入力端子があるとき/テレビのビデオ入力端子に接続する 21
- AVアンプと接続して楽しむ 22
- DVDビデオの5.1chサラウンドを楽しむための接続 22
- DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドを楽しむための接続 23
- その他の接続 23
- デジタル音声入力端子のある機器との接続/2chアナログ音声入力端子のある機器との接続 23
- HDMI入力端子のある機器と接続する 24
- IR端子の接続 25
- RIケーブルの接続 26

電源を入れる/基本設定をする

電源を入れる 26
基本設定をする 27

基本の再生

基本の再生 28
- 再生を始める前に 28
- 本文の表記について/表示部の明るさを変える 28
- 再生の手順 29
- 再生を停止する/再生を一時停止する/頭出し(スキップ)する/早送り、早戻しをする 30
- コマ送り再生をする/映像をスローで見る/ラストメモリー機能を使う 31
- DVDのディスクメニューを操作する 32
- DVDオーディオの再生について 32
- DVD-RW VRモードを再生する 32
- ビデオCDのPBC再生をする 33
- CDやSACDを再生する 33
- SACDの再生について 33
- MP3、WMA、DivXを再生する 34
- JPEG画像をスライドショーする 35
- サムネイル一覧を表示する/HD JPEGついて 35

こんな こども できます

設定をする

映像と音声の設定をする 42
- 映像に関する設定 42
- HDMIを出力する/HDMIを出力しない/HDMIの解像度を設定する 42
- アナログ音声出力の設定 43

応用設定をする 44
- 設定のしかた 45
- 「映像」の設定をする 46
- TV画面形状/ビューモード/HDMI出力設定 46
- プログレッシブ設定/解像度/HD JPEGモード/黒レベル/明るさ/シャープネス 47
- 「オーディオ」の設定をする 48
- デジタルオーディオ出力/リニアPCM出力/サブウーファー/フロントスピーカー/センタースピーカー/サラウンドスピーカーの設定/試聴音/センター/サラウンド遅延時間 48
- Dレンジコントロール/Dolby Pro Logic設定/SACD音声出力設定/ダウンミックス設定 49
- 「言語」の設定をする 50
- 画面表示言語を選ぶ/ディスクメニュー言語を選ぶ/音声言語を選ぶ/字幕言語を選ぶ/DivX字幕言語を選ぶ 50
- 言語コード表 51
- 「表示」の設定をする 52
- 画面表示/画面表示色を設定する/背景を設定する/スクリーンセーバーを設定する 52
- 「機能設定」をする 52
- パレンタロック 52
- 暗証番号/DVD優先再生/SACD優先再生/自動電源オフ/DivXレジストレーション 53

困ったときは

困ったときは 54
- 本機を初期設定(お買い上げ時の状態)に戻すには 57

HDMIで困ったときは 58

その他

用語集 59
主な仕様 61
修理について 62
メモ 63

いろいろな再生

いろいろな再生 36
- 見たい聞きたい場所を探す 36
- タイトル/チャプター/トラック/グループ/フォルダを指定して再生する/タイムサーチを使って再生する 36
- 順不同に再生する(ランダム再生) 37
- くり返し再生する(リピート再生) 37
- 選んだ部分だけをくり返し再生する(A-Bリピート再生) 38
- メモリー再生をする 38
- メモリーリストに新しい項目を挿入するには/メモリーした項目を消去するには/メモリープレイ設定画面を終了するには 39
- ディスクの情報を見る 40
- 画面をズーム(拡大)するには 40
- 音声を切り換える 41
- 字幕言語を切り換える 41
- カメラアングルを切り換えるには 41

はじめに 2
接続をする 18
電源を入れる 基本設定をする 26
基本の再生 28
いろいろな再生 36
設定をする 42
困ったときは 54
その他 59

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
●本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
●テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
●本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。

⚠警告

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

●雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

⚠注意

■ 点検について

電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

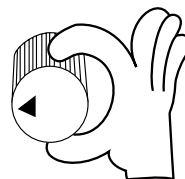
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	
DVDビデオ	DVDオーディオ
DVD-R　DVD-RW	SACD
ビデオCD	CD
CD-R	CD-RW

本機は以下のDVD＋RやDVD＋RWディスクにも対応しています。
- DVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたディスク
- ISO9660レベル2のファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet）に準拠して記録した、JPEG、MP3またはWMAディスク

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM・DVD-RAM
- CD-Gなど
- 正しくファイナライズされていないディスク
- JPEG/MP3/WMA/MPEG/DivXなどが混在しているディスク
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境において再生できないことがあります。

以下のようなディスクは再生できないことがあります。
- 汚れていたり傷がついているディスク
- データ容量が小さすぎるディスク

本機は再生専用機です。DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWに録音・録画することはできません。

音楽用CDやMP3、WMAのCD-R/CD-RWを再生するときも、必ずテレビと接続してください。MP3のディスクナビゲーター画面やメモリー再生など、テレビ画面に設定を表示してご使用いただく機能もあります。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16:9 LB	記録されている映像のアスペクト比（縦横比）
2　ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、画面に再生できない警告表示が出ます。

DVDの再生について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。ディスクによって禁止されている操作をしたときは、画面にディスクによる禁止マークが出ます。また、プレーヤーによって禁止されている操作をしたときは、画面にプレーヤーによる禁止マークが出ます。

DVD-R/DVD-RWの再生について

本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-R/DVD-RW、ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWを再生できます。
また、MP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたDVD-R/DVD-RWも再生できます。

ご注意

- 本機は、CPRM（Content（コンテンツ） Protection（プロテクション） for Recordable（レコーダブル） Media（メディア））技術でコピー保護されたDVD-RW（VRモード）にも対応しています。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWを再生することはできません。

※DVDビデオフォーマット（ビデオモード)記録とDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録について、その他詳しくはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。レコーダーやディスクによっては、再生できないことがあります。

CD-R/CD-RWの再生について

本機は音楽CDフォーマット、またはMP3などの音楽データやJPEGなどの写真データが記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWを再生することはできません。

ビデオCDについて

本機はPBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCは、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

MP3/WMA/JPEGの再生について

本機はCD-R/CD-RW、DVD-R/DVD-RW、DVD＋R/DVD＋RWに記録したMP3、WMA、JPEGファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。）
  また、HFS（hierarchical file system）ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- 255フォルダ、各フォルダ内255トラックまで認識･再生することができます。
- 画面表示時、フォルダ/トラックに3桁の番号がつきます。
- マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 本機に対応していないディスクを再生しようとすると「このフォーマットは再生できません」と表示されます。
- ディスクはファイナライズしてください。

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。
- 本機はJPEG/MP3/WMA/MPEG/DivXなどの複数のフォーマットが混在しているディスクには非対応です。

■MP3の再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG１オーディオレイヤー3（64-384kbps）のサンプリング周波数44.1/48ｋHzで記録されたファイルに対応しています。
- 32kbpsから320kbpsの可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

■JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
  「.jpg」、「.JPG」または「.JPEG」「jpeg」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
  5メガバイト以下のJPEGファイルに対応しています。
- 総ピクセル数が5700×3800ピクセル以下のベースラインJPEGファイルに対応しています。
- プログレッシブJPEGには対応していません。

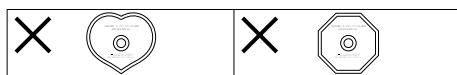
■WMAの再生について
- 「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。本機は、Windows Media® Player Ver.7、7.1、8を使用してエンコードしたWMAファイルに対応しています。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 48kbpsから192kbps（44.1kHz）、128kbpsから192kbps（48kHz）の可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 著作権保護されたWMAファイルは再生できません。

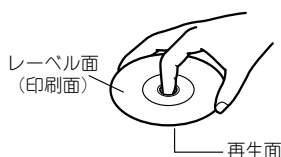
DivXの再生について

- 本機は正式にDivX®から認証された製品です。
- 本機では、DivX®規格に準拠したDivX®5、DivX®4、DivX®3のHome Theaterモード、DivX VODビデオフォーマットを再生することができます。
- 本機では、CD-Rに記録したDivXファイルを再生することができます。
- ISO9660レベル1、2のファイルシステムおよび拡張フォーマット(Joliet)に従って記録したディスクを使用してください。
- 255フォルダ、各フォルダ内255ファイルまで認識・再生することができます。
- ファイル名には、アルファベットと数字のみを使用してください。
- 「.avi」、「.AVI」という拡張子がついたDivXファイルのみ再生することができます。

ディスクの取り扱いについて

■異型ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

■取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などを付けないようにしてください。

■保管上の注意について

直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

■レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの、のりがはみ出したしたり、剥がした跡があるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

■お手入れについて

汚れによる信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと柔らかい布で水気をふき取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■アナログ映像コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号が入っているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

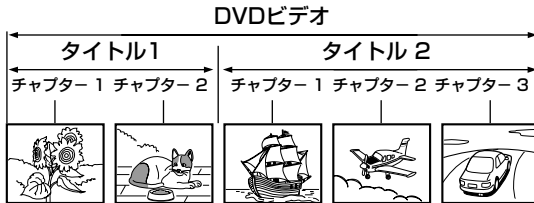
■著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

ディスクに関する用語について

■DVDビデオ

- DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

■DVDオーディオ

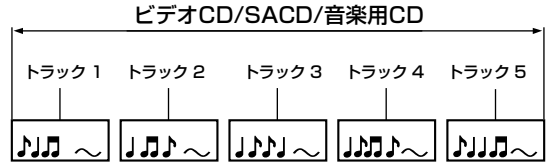
- DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。

グループ：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

トラック：グループの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

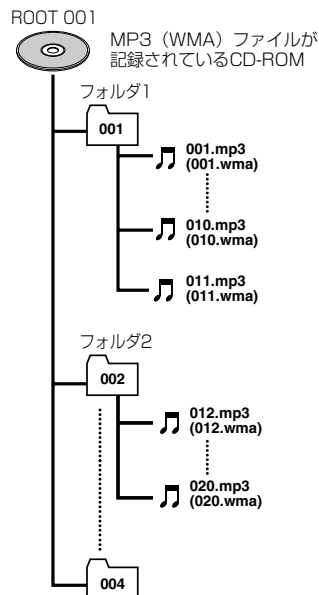
- 一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

■ビデオCD/SACD/音楽用CD

- ビデオCD/SACD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トラック：ビデオCD/SACD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

- 一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

■WMA/MP3/JPEG/DivX

WMA/MP3/DivXのフォルダ/トラックの名前や、JPEGのフォルダ/ファイルの名前が画面に表示されます。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

本体、リモコンボタンの名前と働き

前面パネル

詳しい説明は〔　〕内のページをご覧ください。

表示部

トラック　チャプター
TRACK/CHPインジケーター
トラック番号やチャプター番号が表示されているときに点灯します。
タイトル　グループ
TITLE/GROUPインジケーター
タイトル番号やグループ番号が表示されているときに点灯します。
ディスクインジケーター
ディスクトレイにセットされているディスクの種類を表示します。
ドルビーデジタル
DD Dインジケーター
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているときに点灯します。
チャンネル
5.1CHインジケーター
再生しているソースが5.1チャンネル音声フォーマットのときに点灯します。
ダウンミックス
D.MIXインジケーター
マルチチャンネル音声をダウンミックスしているときに点灯します。
ランダム
RANDOMインジケーター
ランダム再生中に点灯します。
リピート
インジケーター
リピート再生中またはA-Bリピート再生中に点灯します。
DVD -AUDIO SACD V CD
5.1CH D.MIX
RANDOM
A-B
D PRO LOGIC
TITLE GROUP
TRACK CHP
REMAIN
PROGRESSIVE
dts
MP3
MP3インジケーター
MP3ディスクを再生しているときに点灯します。
多目的表示部
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。
プレイ　ポーズ
►、❚❚インジケーター
ディスクを再生または一時停止しているときに点灯します。
リメイン
REMAINインジケーター
タイトル/チャプター/トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯します。
ディーティーエス
dts インジケーター
DTS音声で収録されているDVDを再生しているときに点灯します。
プログレッシブ
PROGRESSIVEインジケーター
コンポーネント端子からプログレッシブ出力しているときに点灯します。
アングルインジケーター
アングルが収録されている場面を再生中に点灯します。
プロ　ロジック
PRO LOGICインジケーター
本機のドルビープロロジックデコーダーが働いているときに点灯します。
A-Bインジケーター
A-Bリピート再生中に点灯します。

本体、リモコンボタンの名前と働き

リモコン（RC-658DV）

詳しい説明は〔　〕内のページをご覧ください。

本体、リモコンボタンの名前と働き

① **Onボタン**〔26〕
電源をオンにします。

② **Standbyボタン**〔26〕
電源をスタンバイ（待機）状態にします。

③ **数字ボタン**〔36、38、52〕
場面や再生時間、項目、暗証番号などを選びます。

④ **Audioボタン**〔41〕
DVDやビデオCDの音声を切り換えます。
SACDの再生エリアを切り換えます。
ビデオCDでは、ステレオ、左、右、ミックスが切り換わります。

⑤ **Subtitleボタン**〔41〕
DVDの字幕言語を切り換えます。

⑥ **Randomボタン**〔37〕
ランダム再生をします。

⑦ **再生操作ボタン**

Stop■ボタン：
再生を停止します。

Play▶ボタン：
再生を始めます。

Pause❚❚ボタン：
再生を一時停止します。
一時停止中に押すと、コマ送りします。

FR◀◀/FF▶▶ボタン：
再生中に押すと、映像や音声の早送り/早戻しをします。

Down❙◀◀/Up▶▶❙ボタン：
場面や曲の頭出しをします。

Slow◀❙/Slow❙▶ボタン：
再生中に押すと、スロー再生をします。

⑧ **▲/▼/◀/▶Enterボタン**〔45〕
カーソルを上下左右に移動します。
中央のボタンを押すと、設定した内容を決定します。

⑨ **Top Menuボタン**〔32、33、35〕
DVDの最上層のメニュー画面を表示します。
JPEGでは、サムネイル表示させることができます。
ビデオCDでは、PBCのオン／オフを切り換えます。

⑩ **Menuボタン**〔32、35〕
DVDのディスクメニューを表示します。
DVD-RW（VRモード）やJPEG画像を再生しているときは、ディスクナビゲーターを表示します。

⑪ **Aspect/Zoomボタン**〔40、46〕
画面モードを切り換えます。
長押しすると、画面をズーム（拡大）します。

⑫ **Open/Closeボタン**〔29〕
ディスクトレイを開閉します。

⑬ **Searchボタン**〔36〕
見たい、聞きたい場所を指定します。

⑭ **Memoryボタン**〔38、39〕
好みの順にタイトル、チャプター、トラックをプログラムするときに押します。

⑮ **Repeatボタン**〔37〕
くり返し再生します。

⑯ **A-Bボタン**〔38〕
再生の場所を指定して、くり返し再生します。

⑰ **CLRボタン**〔39〕
設定した内容を取り消します。

⑱ **Displayボタン**〔40〕
ディスクの情報を切り換えます。

⑲ **Angleボタン**〔41〕
DVDのカメラアングルを切り換えます。

⑳ **Last Memoryボタン**〔31〕
DVDの再生する場所を記憶します。

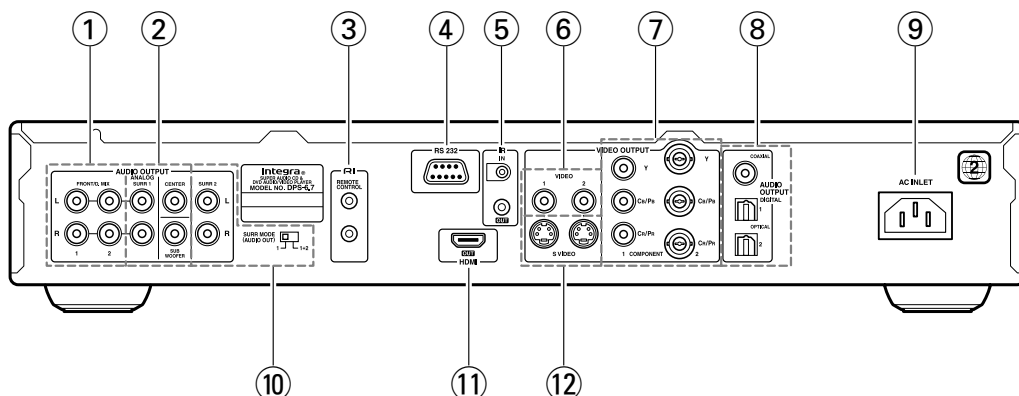
㉑ **Setupボタン**〔45〕
設定画面を表示します。

㉒ **Returnボタン**
1つ前の設定画面に戻します。

㉓ **Resolutionボタン**〔42〕
HDMI出力の解像度を切り換えます。
HDMI出力がオフのときは、コンポーネント出力のプログレッシブとインターレースを切り換えます。

本体、リモコンボタンの名前と働き

後面パネル

詳しい説明は〔　〕内のページをご覧ください。

① AUDIO OUTPUT FRONT/D.MIX 1/2端子〔23〕
アナログ音声の出力端子です。テレビやAVアンプなどのステレオ音声入力端子に接続するときは、FRONT/D.MIX端子のみを使用します。1と2には同じ音声が出力されますので、どちらに接続してもかまいません。このときは、43ページ「アナログ音声出力の設定」で、フロントスピーカー以外のスピーカーを「オフ」に設定してください。

② AUDIO OUTPUT SURR 1/CENTER/SUBWOOFER端子〔23〕
アナログ5.1チャンネル入力端子のあるAVアンプやサラウンドデコーダーなどと接続するときは、FRONT/D.MIX端子の1または2端子どちらかと、SURR 1、CENTER、SUBWOOFER端子を使用します。5.1チャンネル音声がFRONT/D.MIX L/R、SURR 1、CENTER、SUBWOOFER端子からそれぞれ出力されます。

③ RI端子〔26〕
RI端子付きのインテグラ/オンキヨー製アンプなどと接続し、連動させる端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

④ RS232コネクター
サービス用の端子です。

⑤ IR IN/OUT端子〔25〕
別室からリモコン操作したいときや、本機をラックに入れたときにリモコンセンサーを接続する端子です。（この接続には、マルチルームシステム用キットが必要です。）

⑥ VIDEO OUTPUT1/2端子〔21、22〕
映像が出力される端子です。
テレビやAVアンプなどと接続するときに、付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。
1、2端子は、同じ信号を出力します。

⑦ COMPONENT VIDEO OUTPUT1/2端子〔21、22〕
コンポーネント映像が出力される端子です。RCAタイプまたはBNCタイプのコンポーネント映像入力端子のあるテレビやAVアンプなどと接続します。市販のRCAタイプまたはBNCタイプのコンポーネントビデオコードを使って接続します。
1、2端子は、同じ信号を出力します。

⑧ AUDIO OUTPUT DIGITAL(COAXIAL/OPTICAL)端子〔22、23〕
デジタル入力端子付きのAVアンプ、MDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。市販のオーディオ用同軸デジタルケーブルやオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

⑨ AC INLET〔26〕
付属の電源コードを接続します。

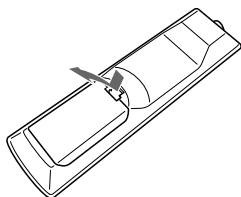
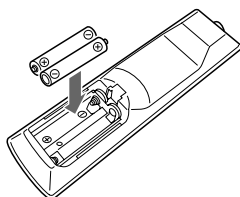
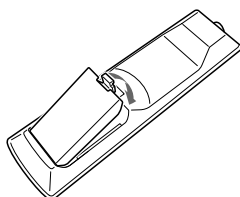
⑩ AUDIO OUTPUT SURR 2端子とSURR MODEスイッチ〔23〕
AVアンプやサラウンドデコーダーに7.1チャンネル入力端子がある場合は、SURR 2端子をサラウンドバックチャンネル入力に接続して、SURR MODEスイッチを「1+2」側にしてください。SURR 1端子とSURR 2端子には、同じ音声が出力されます。

⑪ HDMI OUT端子〔24〕
デジタル映像とデジタル音声が出力される端子です。HDMI入力端子のあるテレビやAVアンプなどと接続するときに、市販のHDMIケーブルを使って接続します。

⑫ S VIDEO OUTPUT1/2端子〔21、22〕
Sビデオ映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビやAVアンプなどと接続するときに、市販のSビデオコードを使って接続します。
1、2端子は、同じ信号を出力します。

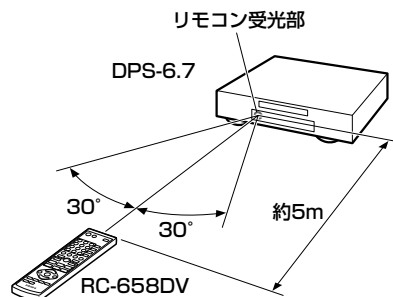
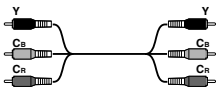
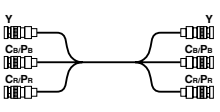
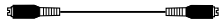
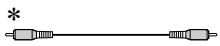
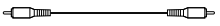
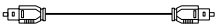
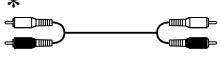
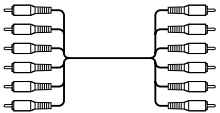
リモコンを準備する

乾電池を入れる

① ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずす。

② 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個をプラス⊕、マイナス⊖を間違えないように入れる。

③ カバーを閉める。

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

- 電池の極性（⊕、⊖）は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

接続をする

映像/音声ケーブルと端子の種類について

映像ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
HDMIケーブル		OUT HDMI	映像や音声をデジタルで伝送します。
コンポーネントビデオコード（RCAタイプ）	Y CB CR	Y CB/PB CR/PR 1 COMPONENT	Sビデオより良い画質が得られます。映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることはできません。
コンポーネントビデオコード（BNCタイプ）	Y CB/PB CR/PR	Y CB/PB CR/PR COMPONENT 2	Sビデオ映像より良い画質が得られます。映像機器の制御信号（アスペクト比など）を送ることはできません。BNCタイプは、接合部をロックできるのでコードが抜けにくい構造になっています。
Sビデオコード		S VIDEO	コンポジットの映像よりよい画質が得られます。本機のSビデオ端子は、S1、S2信号に対応しています。
ビデオコード（コンポジット）	＊	VIDEO	標準的な映像信号で、多くのテレビやビデオなどの映像機器に装備されています。

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
同軸デジタルケーブル（コアキシャル COAXIAL）		COAXIAL AUDIO OUTPUT DIGITAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はOPTICALと同レベルです。
光デジタルケーブル（オプティカル OPTICAL）		AUDIO OUTPUT DIGITAL OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル音声が得られます。音質はCOAXIALと同レベルです。
オーディオ用ピンコード	＊	AUDIO OUTPUT ANALOG L R	アナログ音声を伝送します。
アナログマルチチャンネル接続コード		AUDIO OUTPUT ANALOG FRONT/D. MIX SURR 1 CENTER L R 1 2 SUB WOOFER	5.1チャンネル入力端子のあるAVアンプなどにあります。DVDオーディオやSACDを再生するときに必要な接続です。

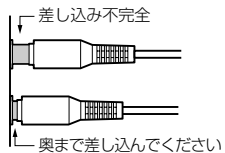
＊印のケーブルは本機に付属しています。ビデオコードとオーディオ用ピンコードは、1本になったものが付属しています。

接続の前に

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ・ビデオ用ピンコードは以下のように接続してください。

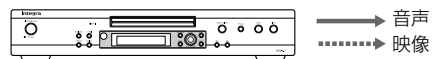
- 入力端子は赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネル、黄色のコネクター（Vの表示）をビデオチャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- ビデオコード、オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル出力端子について

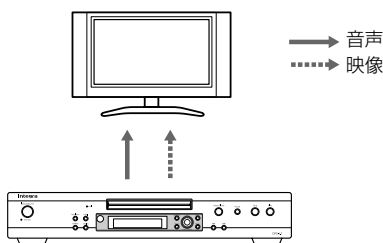
本機の光デジタル端子はすべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして光デジタルケーブルを差し込んでください。

光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

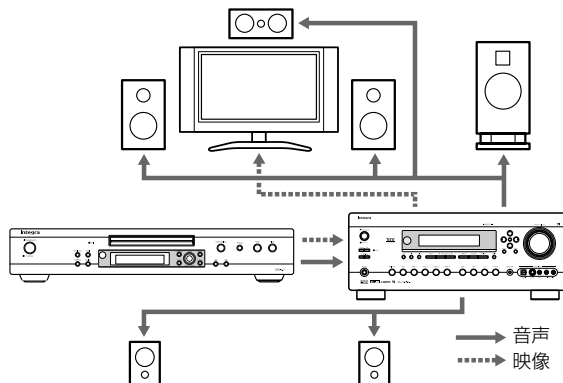
接続のしくみ

DVDプレーヤーは映像と音声の2種類の信号を出力します。これらの信号をテレビやAVアンプに接続することで、映画や音楽などを楽しむことができます。ご使用になる環境によって接続方法をお選びください。本機はテレビ画面に設定を表示してご使用いただく機能もありますので、音楽用CDやMP3/WMAのCD-R/CD-RWを再生するときも、必ずテレビと接続してください。

テレビと接続して楽しむ（AVアンプをお持ちでない場合） ➡ 21ページ

手軽にDVDプレーヤーを楽しみたい方におすすめします。

- 本機とテレビのみの簡単接続。
- テレビ内蔵のスピーカーで音声を楽しむことができます。

AVアンプと接続して楽しむ ➡ 22ページ

AVアンプをお持ちの方におすすめします。

- テレビとAVアンプに接続してホームシアターを構築。
- 音声をAVアンプに通すことにより、AVアンプに接続しているスピーカーから臨場感あふれる音声を楽しむことができます。

その他の接続 ➡ 23ページ

HDMI入力端子のある機器との接続 ➡ 24ページ

接続をする

本機には、「映像出力」と「音声出力」に関する設定があり、設定によっては、映像や音声が出なくなることがあります。下記を参考にして、接続・設定を行ってください。

映像出力の設定について

■映像の設定による映像出力の有無

お使いの機器との接続によって、必要な映像の設定をしてください。設定によっては映像が出ない場合もありますので、下の表を参考に設定してください。お買い上げ時の各出力は太枠内の設定になっています。

映像の設定と選択項目		HDMI出力設定(42ページ)				
		オン(お買い上げ時の設定)			オフ	
		解像度(42ページ)			プログレッシブ設定(47ページ)	
		自動	480p(お買い上げ時の設定)	720pまたは1080i	プログレッシブ	インターレース
出力の有無(×は出力しません)	HDMI出力	○	○	○*3	×	×
	コンポーネント出力	○*1	○*2	×	○*2	○
	Sビデオ出力	○*1	○	×	○	○
	ビデオ出力	○*1	○	×	○	○

*1 「自動」に設定したときは、HDMIテレビ側の推奨する解像度によって本機の出力する解像度が自動的に選択されるので、HDMI以外のテレビには映像が映らないことがあります。
*2 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応していないときは、映像が映りません。
*3 接続したテレビが720pや1080iの解像度に対応していないときは、映像が映りません。

音声出力の設定について

■デジタル音声の設定によるデジタル音声出力の有無

お使いの機器との接続によって、必要なデジタル音声出力の設定をしてください。設定によっては音が出なくなる場合もありますので、下の表を参考に設定してください。

デジタル音声の設定と選択項目		デジタルオーディオ出力設定(48ページ)		
		オール(お買い上げ時の設定)	PCM*4	オフ
出力の有無(×は出力しません)	HDMI出力	○	○	×
	光デジタル出力	○	○	×
	同軸デジタル出力	○	○	×

- **SACDは、デジタル（HDMI/光/同軸）音声出力できません。必ずアナログ接続してください。**
- 88.2kHz以上のサンプリング周波数に対応していないテレビやAVアンプと接続するときは、「リニアPCM出力」設定を「ダウンサンプリングオン」にしてください。

*4 接続したテレビやAVアンプがドルビーデジタルやDTSの信号に対応していないときは、この設定を選んでください。

■アナログ音声出力の推奨設定

アナログ音声接続したときは、接続方法によって下記の設定を行ってください。

アナログ音声の設定		アナログ音声出力の設定(43ページ)	
		5.1チャンネル（お買い上げ時の設定） サブウーファー：オン フロントスピーカー：小 センタースピーカー：小 サラウンドスピーカー：小	2チャンネル サブウーファー：オフ フロントスピーカー：大 センタースピーカー：オフ サラウンドスピーカー：オフ
接続方法	アナログ2チャンネル接続(FRONT/D.MIX)	——	○
	マルチチャンネル接続	○	——

- SACDを5.1チャンネルで再生するときは、Audio（オーディオ）ボタンを押してMulti ch（マルチ チャンネル）エリアを選んでください。2チャンネルで再生するときは、2chエリアを選んでください。

テレビと接続して楽しむ

映像接続と音声接続が必要です。

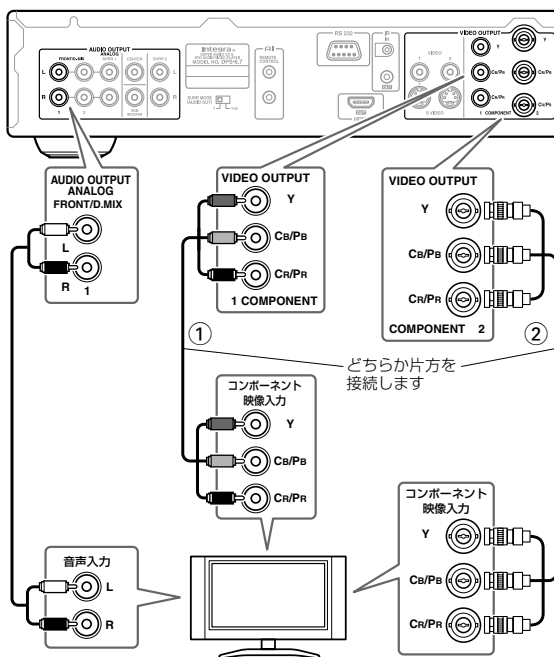
1. 映像接続にはHDMI*端子接続、コンポーネントビデオ端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ端子接続の4類があります。
テレビに応じていずれか1種類の接続を行ってください。
*HDMIは、デジタル映像とデジタル音声を1本のケーブルで伝送できる端子です。接続方法は24ページをご覧ください。

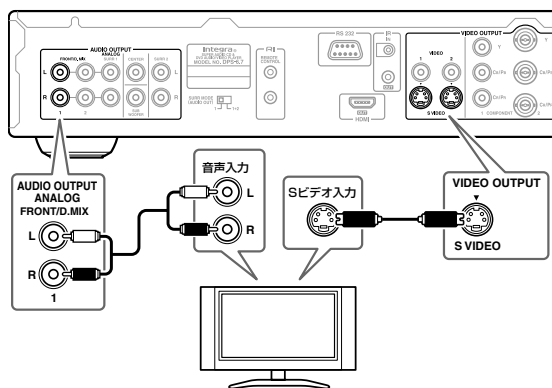
2. 音声接続はテレビの音声入力端子と本機のAUDIO OUTPUT FRONT/D.MIX1または2端子を接続します。
- 電源を入れてから「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ)でサブウーファー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーを「オフ」に設定してください。

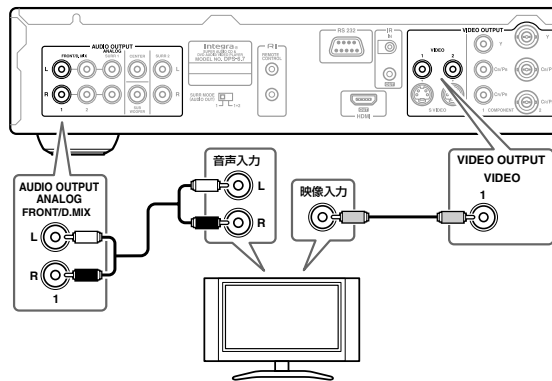
- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードは、まだ接続しないでください。
- **以下の場合、映像出力は直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。
- テレビの音声入力端子がモノラルの場合は、市販のステレオ⟷モノラル音声変換ケーブルで接続してください。

■テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき

①テレビにRCAタイプのコンポーネント映像入力端子がある場合は、市販のRCAタイプのコンポーネントビデオコードで、本機のVIDEO OUTPUT COMPONENT1端子と接続します。

②テレビにBNCタイプのコンポーネント映像入力端子がある場合は、市販のBNCタイプのコンポーネントビデオコードで、本機のVIDEO OUTPUT COMPONENT2端子と接続します。

■テレビにSビデオ入力端子があるとき

市販のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。

■テレビのビデオ入力端子に接続する

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードでビデオ端子接続をします。

AVアンプと接続して楽しむ

5.1チャンネルサラウンドシステムの接続

5.1チャンネルサラウンドを楽しむためには以下のような機器が必要です。

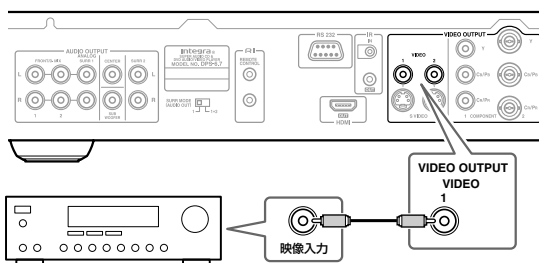
- ドルビーデジタル/DTSなどのデジタル入力に対応したAVアンプ、デコーダー
- 5.1chスピーカー（フロント左右/センター/サラウンド左右/サブウーファー）
- 光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブル（付属）

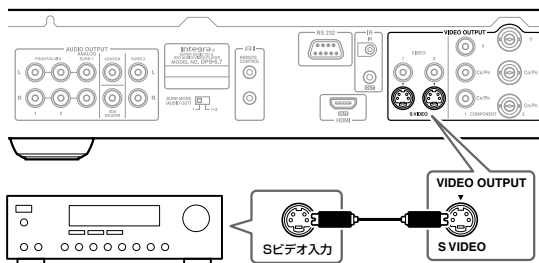
DVDビデオの5.1chサラウンドを楽しむための接続

映像の接続

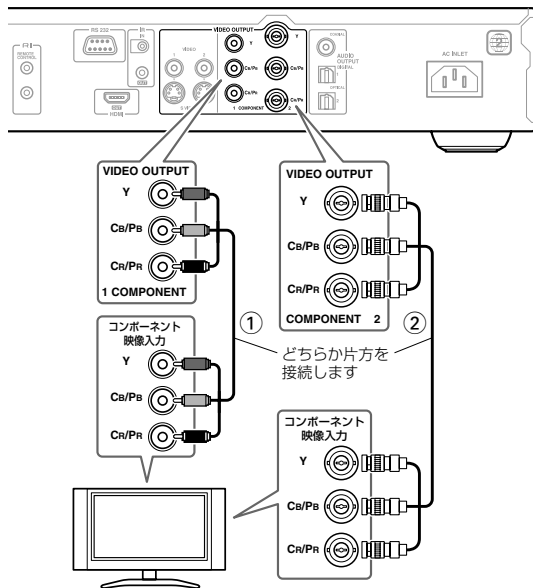
以下のいずれかの接続をします。

●AVアンプのビデオ入力端子に接続する

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードでAVアンプのビデオ入力端子と本機のVIDEO OUTPUT VIDEO1または2端子を接続します。

●AVアンプのSビデオ入力端子に接続する

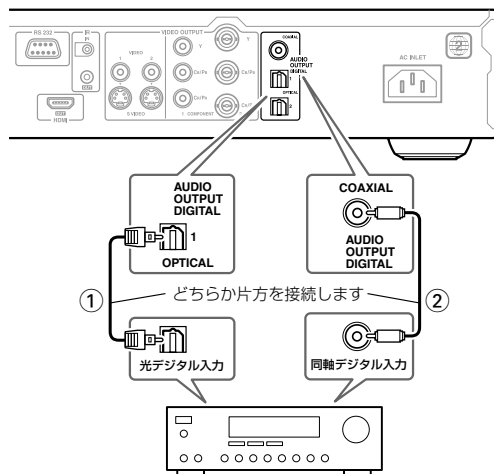
市販のSビデオコードでAVアンプのSビデオ入力端子と本機のVIDEO OUTPUT S VIDEO1または2端子を接続します。ビデオ接続より良い画質が得られます。

●AVアンプのBNCタイプのコンポーネント映像入力端子またはRCAタイプのコンポーネント映像入力端子に接続する

① AVアンプにRCAタイプのコンポーネント映像入力端子がある場合は、市販のRCAタイプのコンポーネントビデオコードで、本機のVIDEO OUTPUT COMPONENT 1端子と接続します。
S ビデオ接続より良い画質が得られます。

② AVアンプにBNCタイプのコンポーネント映像入力端子がある場合は、市販のBNCタイプのコンポーネントビデオコードで、本機のVIDEO OUTPUT COMPONENT 2端子と接続します。
S ビデオ接続より良い画質が得られます。

音声の接続

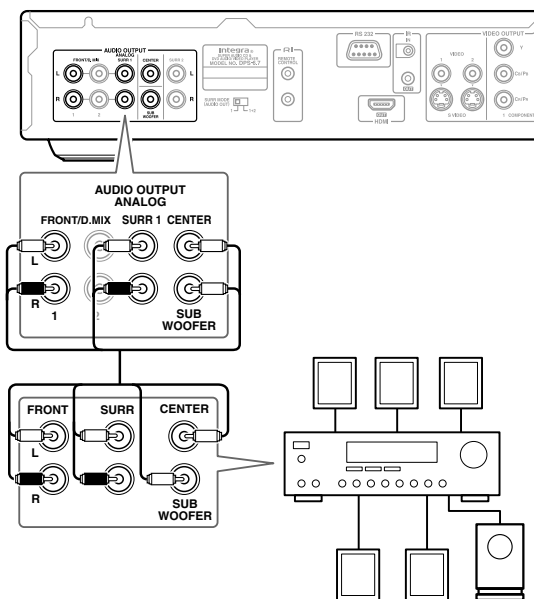
●AVアンプのデジタル入力端子（OPTICAL（オプティカル）またはCOAXIAL（コアキシャル））に接続する

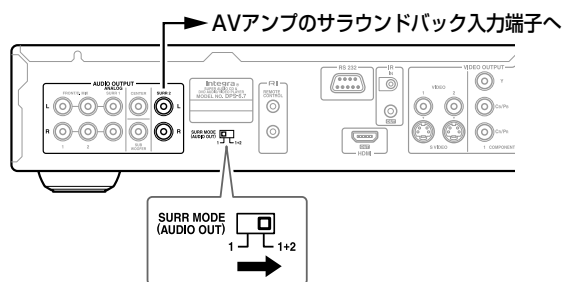
① AVアンプに光デジタル（OPTICAL）入力端子がある場合は、市販のオーディオ用光デジタルケーブルで、本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL1または2）端子と接続します。

② AVアンプに同軸デジタル（COAXIAL）入力端子がある場合は、市販の同軸デジタルケーブルで、本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL COAXIAL端子と接続します。

ご注意　SACDはデジタル音声が出力されません。
23ページの「DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドを楽しむための接続」を行ってください。

DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドを楽しむための接続

5.1chアナログ音声出力端子に接続して5.1chサラウンドを楽しむ

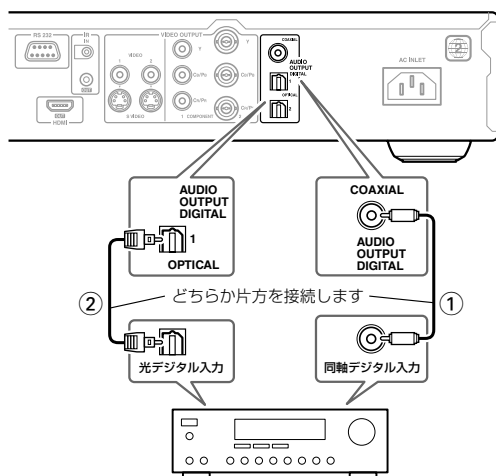
- 5.1chアナログ音声出力端子を接続するときは、付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードと市販のアナログ音声ピンコード(2本) またはマルチチャンネル用接続コードが必要です。

■ お使いのAVアンプに7.1chアナログ音声入力端子がある場合

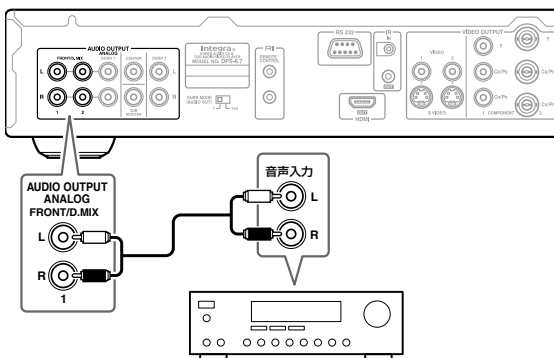
上記の5.1chアナログ音声接続をした上で、市販のアナログ音声ピンコードを使って、本機のSURR 2端子をAVアンプのサラウンドバック入力端子に接続してください。
SURR 1とSURR 2端子からは同じ音声が出力されます。
この接続をするときは、SURR MODEスイッチを「1＋2」に切り換えてください。

その他の接続

■ デジタル音声入力端子のある機器との接続

デジタル音声入力端子のあるAVアンプやデジタル録音対応機器（MDレコーダー、CDレコーダー、DATなど）とデジタル接続することができます。光デジタル（OPTICAL）端子と同軸デジタル（COAXIAL）端子に接続する2つの方法があります。

① 接続する機器に同軸デジタル（COAXIAL）端子がある場合は、市販の同軸デジタルケーブルで、本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL COAXIAL端子と接続します。

② 接続する機器に光デジタル（OPTICAL）端子がある場合は 、市販のオーディオ用光デジタルケーブルで、本機のAUDIO OUTPUT DIGITAL（OPTICAL1または2）端子と接続します。

■ 2chアナログ音声入力端子のある機器との接続

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードで接続する機器の音声入力端子と本機のAUDIO OUTPUT FRONT/D.MIX（1または2）端子と接続します。

この接続をするときは、「アナログ音声出力の設定」でサブウーファー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーを「オフ」に設定する必要があります。（☞43ページ）

HDMI入力端子のある機器と接続する

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは

放送のデジタル化などの変化に対応して、家庭内で セットトップボックスやディスプレイ間をデジタル接続することを目的として策定されたインターフェース規格です。
従来のDVI（Digital Visual Interface）規格をさらに発展させて、オーディオ信号およびコントロール信号を伝送する機能を追加しています。従来は機器間の接続に、ビデオ、オーディオ、コントロールの各信号用に複数のケーブルを使用していましたが、HDMIケーブルを1本接続するだけで、HDMI端子対応の機器間で映像や音声をデジタルで伝送することができます。

HDMIのビデオストリーム（映像信号）は、DVIと原理的に互換性があります。DVI端子を装備した受信機でHDMIのビデオストリームを映すことはHDMI→DVI変換ケーブルを用いて可能ですが、音声は伝送できません。本機はHDCP（下項「著作権保護について」参照）を使用しており、HDCP対応の受信機でのみ映像が出ます。

本機のHDMIインターフェースは、以下の規格に基づいています。
High-Definition Multimedia Interface Specification Informational Version 1.0

著作権保護について

本機はHDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）に対応しています。HDCPとは、デジタル映像信号に対する著作権保護技術です。
本機と接続する機器もHDCPに対応していることが必要です。

本機のHDMI OUT端子とテレビ/モニターなどのHDMI入力端子を接続します。接続には、市販のHDMIケーブルをご使用ください。

HDMI対応モニター/テレビへの出力について

本機は以下の映像の解像度に対応しています。
※ pはプログレッシブ、iはインターレースを表します。

- 720×480p　60Hz
- 1280×720p　60Hz
- 1920×1080i　60Hz

映像信号の解像度を本機が接続しているモニター/テレビが対応している解像度に変更することができます。（☞42ページ）ただし、接続しているモニター/テレビが対応していない解像度を選択すると、画像が映らなくなります。

音声フォーマット

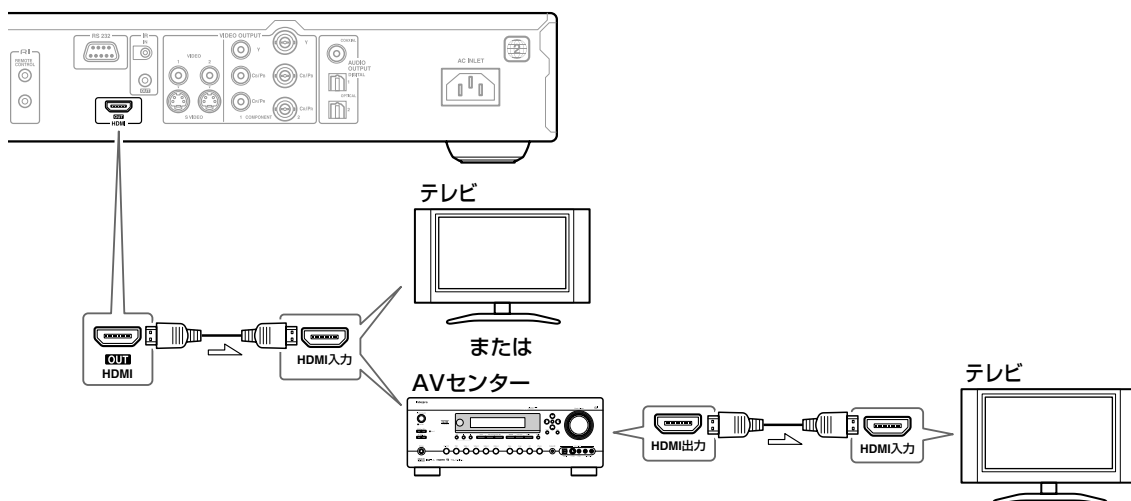
伝送できる音声フォーマットは、96kHz 、48kHz 、44.1kHzのPCM信号およびドルビーデジタル、DTS信号です。

デジタル音声出力設定について

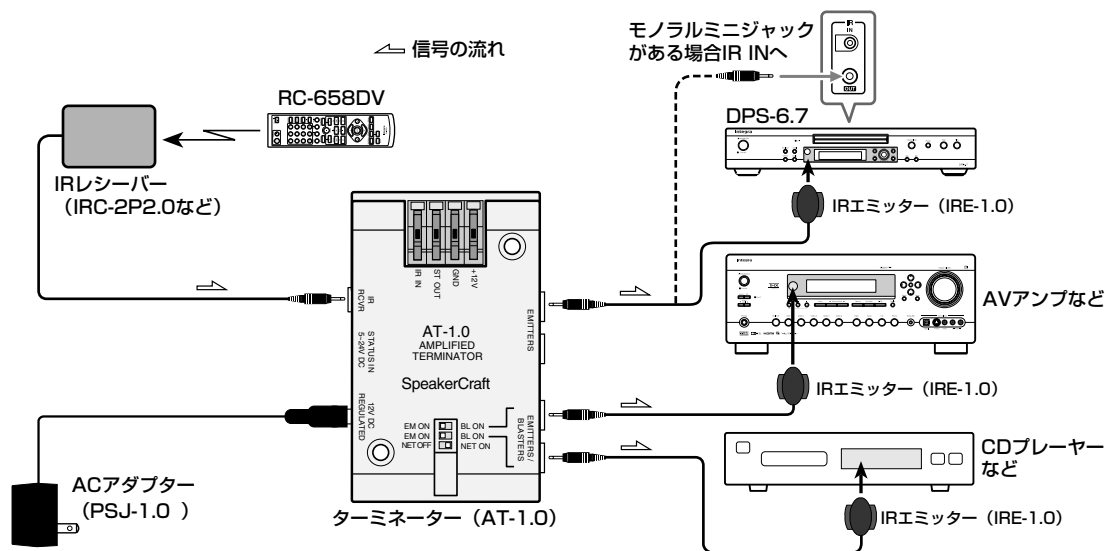
接続する機器の対応しているフォーマットをご確認いただき、必要な設定を行ってください。

- モニター/テレビが、ドルビーデジタル、DTSデコーダーに対応していない場合、これらの信号は出力されません。
  この場合、「デジタルオーディオ出力設定」を「PCM」に設定してください。（☞48ページ）
- 88.2kHz以上のサンプリング周波数に対応していないモニター/テレビやAVアンプと接続するときは、「リニアPCM出力設定」を「ダウンサンプリングオン」に設定してください。（☞48ページ）

ご注意

- HDMIはSACDとDVDオーディオの音声出力に対応していません。SACDの再生をするためには、アナログ音声接続（☞23ページ）が必要です。
- HDMIケーブルをひんぱんに抜き差ししないでください。

IR端子の接続（リモコン信号の届かないところから操作する）

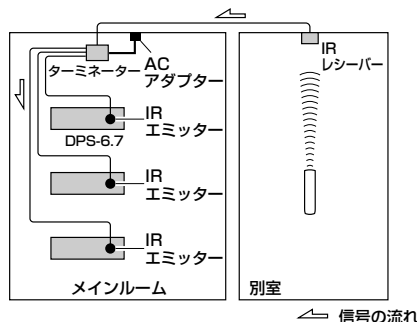
市販のマルチルームキットなどを使用して、本機にリモコン信号が届かない場所からでもリモコン操作をすることができます。別室でホームシアターを楽しんだり、機器をキャビネットに収納している場合などにご利用ください。
ここではスピーカークラフト社の赤外線コントロールシステムをご使用になった場合の例で説明します。
同セットには取扱説明書を同梱しておりますが、取り付けにあたっては壁内配線などを要する場合もございますので、同セット取り扱いのカスタムインストールができる販売店への依頼をお勧めいたします。
※マルチルーム用のキットによっては本機のIR IN OUT端子をご使用いただくことができます。その場合はマルチルームキットの説明書にしたがい、接続・設定をしてください。

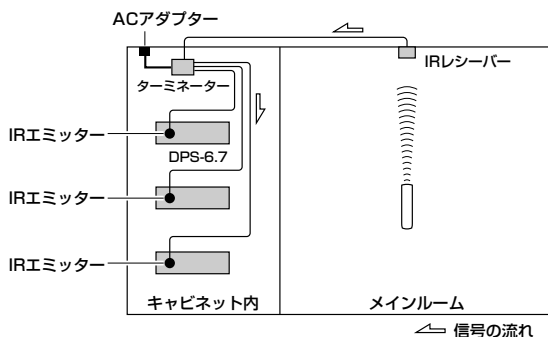
接続例

■別室で使用する場合

1. リモコンを使用する部屋にIRレシーバーを設置し、IRエミッターのエミッター側（赤外線を発射する部分）を機器のリモコン受光部に取り付けます。

！ヒント

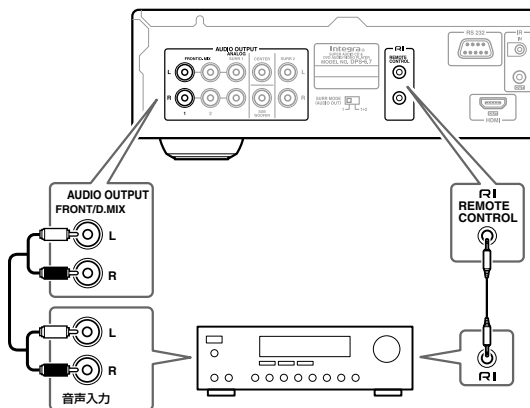
モノラルのミニジャックケーブルがある場合は、IRエミッターを取り付ける代わりにミニジャックの片方をターミネーターに接続し、もう一方を本機のIR IN端子 に接続してもかまいません。

2. ターミネーターに、IRレシーバーとIRエミッターを接続し、ターミネーターのスイッチを適切な位置に合わせます。（システムに添付の取扱説明書等をご覧ください。）電源アダプターをターミネーターに接続します。

■キャビネットなどの中に入れて使用する場合

1. リモコン信号を受信しやすい場所にIRレシーバーを設置し、IRエミッターをキャビネット内に取り付けます。取り付けについての詳細は添付の取扱説明書等をご覧ください。
2. ターミネーターに、IRレシーバーとIRエミッターを接続し、ターミネーターのスイッチを適切な位置に合わせます。（システムに添付の取扱説明書等をご覧ください。）電源アダプターをターミネーターに接続します。

接続をする

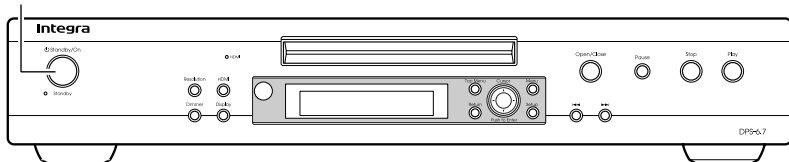
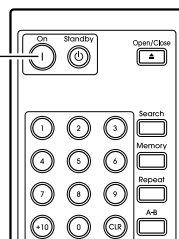
RIケーブルの接続

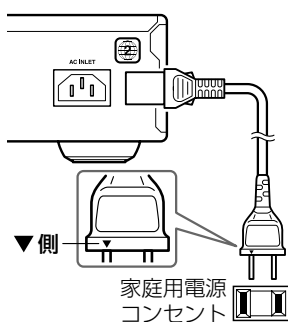
付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたインテグラ/オンキヨー製AVアンプやAVレシーバーなどを接続すると、AVアンプやAVレシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- **RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。**

電源を入れる

電源を入れる前に

- 21～26ページの接続がすべて終了しているか確認してください。（本機はテレビ画面を使って設定や操作をします。テレビの接続は必ず行ってください。）
- 接続しているテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2

2

1

付属の電源コードを本体後面のAC INLETにつなぎ、プラグを家庭用電源コンセントに接続する

Standbyインジケーターが点灯し、スタンバイ状態になります。

- 付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外の機器には使用しないでください。
- 感電の原因となるため、電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、本機のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらを接続してもかまいません。

2

または

本体のStandby/Onボタンまたは、リモコンのOnボタンを押して電源を入れる

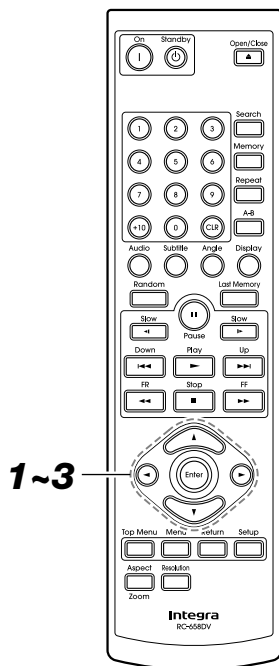
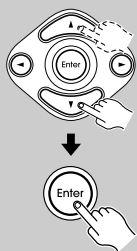
表示部に文字が表示され、Standbyインジケーターは消灯します。

！ヒント

- スタンバイ状態で、本体またはリモコンのPlay▶ボタンあるいはOpen/Close▲ボタンを押すと電源が入ります。
- 電源を切るときは、本体のStandby/OnボタンまたはリモコンのStandbyボタンを押します。

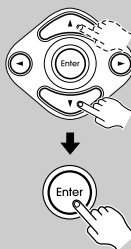
基本設定をする

基本設定をする

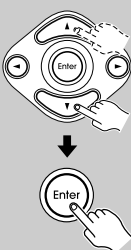
お買い上げ時、最初に電源を入れたときに「基本設定」画面が立ち上がります。再生を始める前に、お使いの環境に合わせて正しくセットアップしてください。

1

▲/▼ボタンを使って「TV画面形状」を設定し、Enter（エンター）ボタンを押す

従来の画面タイプのテレビ（4：3）をお使いの場合は、「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」画面を選んでください。
ワイドテレビ（16：9）をお使いの場合、「16:9ワイド」または「16:9シュリンク」を選んでください。

詳しい選び方は46ページをご覧ください。

2

▲/▼ボタンを使って「HDMI出力設定」を設定し、Enterボタンを押す

テレビやAVアンプとHDMI接続しているときは、「オン」を選んでください。

3

▲/▼ボタンを使って「画面表示言語」を設定し、Enterボタンを押す

設定画面などの表示言語を選びます。
初期設定で「日本語」が設定されていますので、そのままEnterボタンを押してください。

これで設定完了です。
次は、DVDを再生してみましょう。

- 基本設定画面は、Setup（セットアップ）ボタンで消すことができます。後で設定する場合は、Setupボタンで再度基本設定を表示してください。（☞45ページ）

基本の再生

再生を始める前に

- DVDビデオ、DVDオーディオ、SACD、ビデオCD、MP3/WMA/MPEG/DivXディスク、JPEGディスク、音楽用CDなど、再生可能なディスク以外は再生しないでください。（☞「ディスクについての予備知識」8～11ページ）
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して適正な状態にしてください。

基本の再生をする
- 再生･停止･早送り/巻き戻し･スキップ
- コマ送り
- スロー再生
- ラストメモリー機能を使う

29-31ページ

ディスクナビゲーター機能を使って再生する
- ディスク内の内容をテレビ画面で見ながら再生する曲や場面を選ぶことができます

いろいろな再生をする
- 見たい場面などを探して再生する（サーチ）
- 順不同に再生する（ランダム）
- 曲や場面をくり返し再生する(リピート)
- 指定した部分だけをくり返し再生する（A－Bリピート）
- お好みの順で再生する（メモリー）

36-39ページ

ディスクの情報を見る

40ページ

その他の再生
- 画面を拡大する
- 音声を切り換える
- 字幕言語を切り換える
- DVDのカメラアングルを切り換える

本文の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

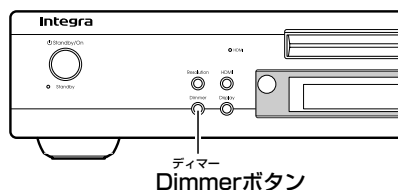
- DVD-V　市販のDVDビデオ、またはビデオモード（DVDビデオフォーマット）にて記録されたDVD-R/RW
- DVD-A　市販のDVDオーディオ
- DVD-RW (VR)　VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）にて記録されたDVD-RW
- VCD　ビデオCD
- SACD　市販のSACD（スーパーオーディオCD）
- CD　市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
- MP3 WMA　WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD±R/RW
- JPEG　JPEGファイルが記録されたCD-R/RW/ROM、DVD±R/RW
- DivX　DivXファイルが記録されたCD-R

ご注意

- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、Stop(ストップ)■ボタンを押してください。

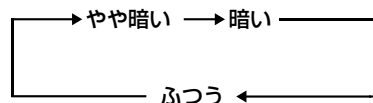
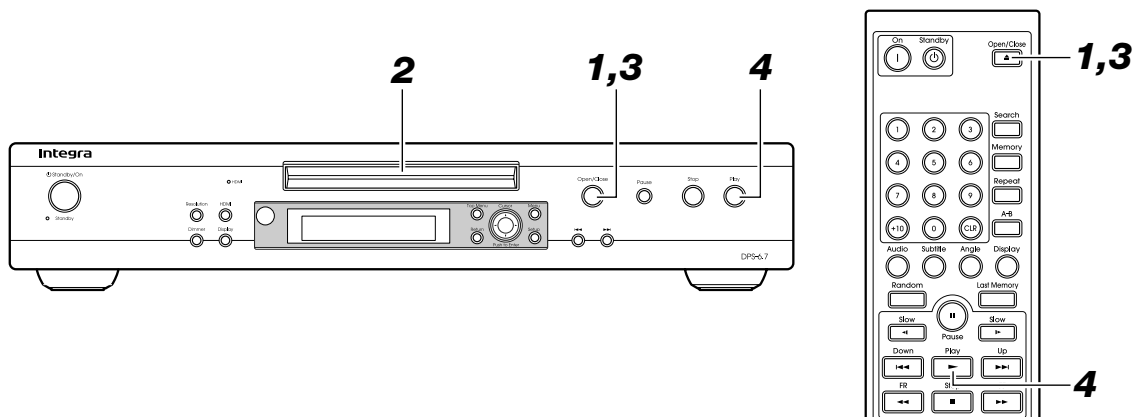
表示部の明るさを変える

表示部の明るさを変えることができます。

Dimmer(ディマー)ボタン

本体のDimmer(ディマー)ボタンを押す

押すたびに以下のように明るさが3段階に変わります。

再生の手順

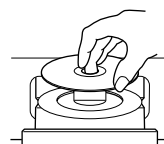
1

本体またはリモコンのOpen/Close▲ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

！ヒント

スタンバイ状態のときに、本体またはリモコンのOpen/Close▲ボタンを押して、電源を入れることもできます。

2

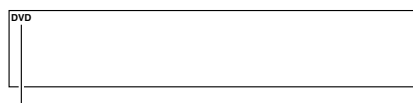
ディスクをディスクトレイに置く

ディスクの印刷面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。
ディスクトレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体またはリモコンのOpen/Close▲ボタンを押して、ディスクトレイを閉じる

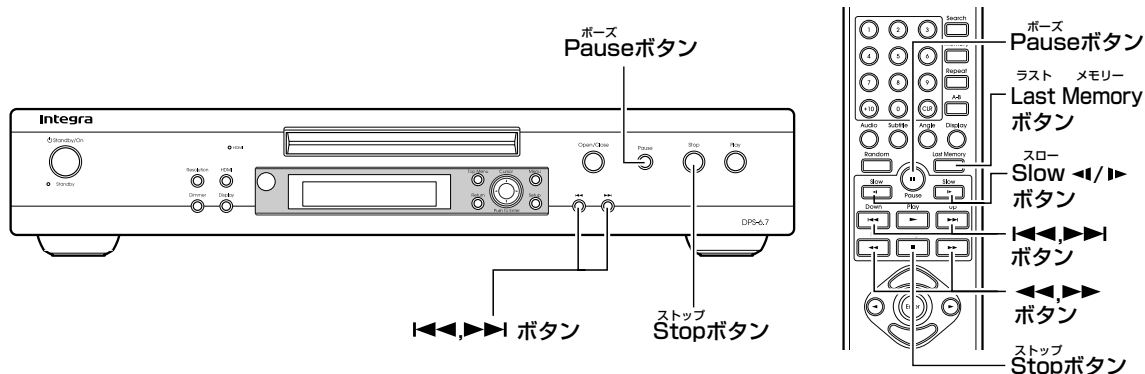
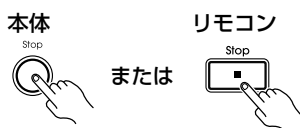
ディスクを読み込んだ後、セットしたディスクの種類が表示されます。
- ディスクの読み込みに時間がかかることがあります。

例：DVDビデオの場合

4

本体またはリモコンのPlay▶ボタンを押す

ディスクを取り出すには、本体またはリモコンのOpen/Closeボタンを押します。

メニュー画面が表示されたら
再生を始めると最初にメニュー画面（ディスクメニュー）を表示するディスクがあります。
ディスクメニューの内容や操作方法はディスクによって異なります。メニュー画面が表示されたら、本体やリモコンの▲/▼/◀/▶/Enterボタン、数字ボタンで操作してください。

基本の再生

再生を停止する

本体またはリモコンのStop■ボタンを押す

止めたところから再生する（リジューム再生）

DVDを再生中にStop■ボタンを押して停止すると、「リジューム」と表示され、その場所を記憶します。

次回、Play▶ボタンを押すと、続きから再生を開始することができます。
停止中にStop■ボタンをもう一回押すと、ジューム機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

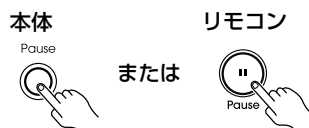
- ディスクを取り出すとリジューム機能は解除されます。

ラストメモリー機能（☞31ページ）

DVDの場合、ディスクを取り出しても停止した場所やその時の設定内容を6枚まで記憶させておくことができます。

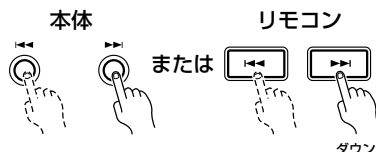
スクリーンセーバー画面があらわれたときは…
ディスク再生中、15分間停止状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。
Play▶ボタンを押すと再生画面が表示され、再度Play▶ボタンを押すと再生が始まります。

自動電源オフ機能を使う（☞53ページ）
本機は停止状態が20分間続くと、自動的にスタンバイ状態にする「自動電源オフ」機能を設定することができます。

再生を一時停止する

再生中に本体またはリモコンのPause❚❚ボタンを押す

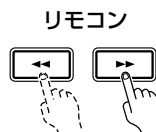
再生を再開するには、Play▶ボタンを押してください。

- メニュー表示のあるDVDオーディオは、一時停止できません。

頭出し（スキップ）する

再生中に本体またはリモコンのDown⏮/Up⏭ボタンを押す

押した回数だけチャプター/トラックをスキップします。

- JPEGの場合、スライドショー中に押すと、前後の写真に移動します。

早送り、早戻しをする

再生中にリモコンのFR◀◀/FF▶▶ボタンを押す

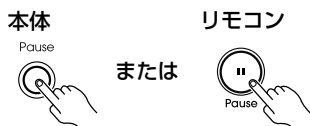
ボタンを押すごとに早さを4段階（×2、×4、×8、×16）に切り換えることができます。

- 通常の再生に戻すにはPlay▶ボタンを押します。
- WMA/JPEGファイルは、早送り、早戻しできません。
- 表示のスピード通りに早送り、早戻しができないことがあります。
- メニュー表示のあるDVDオーディオは、早送り、早戻しできません。

コマ送り再生をする

DVD-V DVD-RW (VR) VCD

本体　　　　またはリモコン

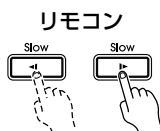
Pause　　　　Pause

再生中に本体またはリモコンのPause❚❚ボタンを押して一時停止させ、くり返しPause❚❚ボタンを押す

通常の再生に戻すには

Play▶ボタンを押します。

- コマ送り再生は音声が出力されません。
- コマ送り再生できないディスクもあります。

映像をスローで見る

DVD-V DVD-RW (VR) VCD

リモコン

再生中または一時停止中に、リモコンのSlow❚▶ボタンまたはSlow◀❚ ボタンを押す

スロー再生中、ボタンを押すごとに速さを4段階（1/2、1/4、1/6、1/8）に切り換えることができます。

通常の再生に戻すには

Play▶ボタンを押します。

- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生のできないディスクもあります。
- 表示のスピード通りにスロー再生ができないことがあります。
- ビデオCDは逆方向のスロー再生ができません。また、順方向のスロー再生の速さを変えることはできません。
- DivXファイルは逆方向のスロー再生ができません。

ラストメモリー機能を使う DVD-V

ディスクを取り出しても、つづきからみる場所やそのときの設定内容を6枚まで記憶させておくことができます。

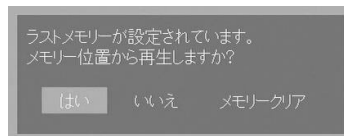
リモコン

再生中にリモコンのLast Memoryボタンを押す

表示部に「LAST MEM」と表示され、押した場所が記憶されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

■つづきから見るには

1. **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
2. **Playボタンを押す**

ラストメモリーが設定されています。
メモリー位置から再生しますか?
はい　いいえ　メモリークリア

3. **記憶させた場所から再生するには◀/▶ボタンで「はい」を選ぶ**
4. **Enterボタンを押す**
   つづきから再生が始まります。

手順***3*** で「いいえ」を選ぶと、ディスクの最初から再生します。
リジューム機能が働いている場合は、前回停止した場所から再生が始まります。ラストメモリー機能を使うときは、もう一度Stop■ボタンを押してください。

■ラストメモリーを消去するには

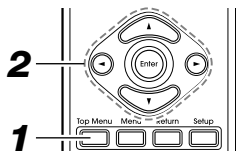
手順***3*** で「メモリークリア」を選び、Enterボタンを押します。

！ヒント

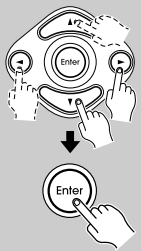
- ディスクによってはラストメモリーできないものがあります。
- メニュー画面が表示されているときは、ラストメモリー機能は使えません。
- 記憶された枚数が6枚を超えると古い記憶から消去されます。
- この機能は、DVD-R/DVD-RWでは正しく働かないことがあります。

DVDのディスクメニューを操作する DVD-V DVD-A

DVDビデオやDVDオーディオでは、ディスクに含まれているメニューで音声や字幕の言語を切り換えたり、タイトル/チャプターやグループ/トラックを選んだり、特別に収録された映像などを見ることができるものがあります。メニュー画面の操作方法はディスクにより異なりますので、ディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。

1

Top Menuボタンを押し、メニューを表示させる

ディスクによっては、Menuボタンを押して表示する場合や、メニューが含まれていない場合もあります。

2

▲/▼/◀/▶ボタンで言語や音声方式、タイトル/チャプターやグループ/トラックを選び、Enterボタンを押して決定する

DVDオーディオの再生について

DVDオーディオには、マルチチャンネルPCM音声で収録されたディスクがあります。

■DVDオーディオをマルチチャンネルで再生する

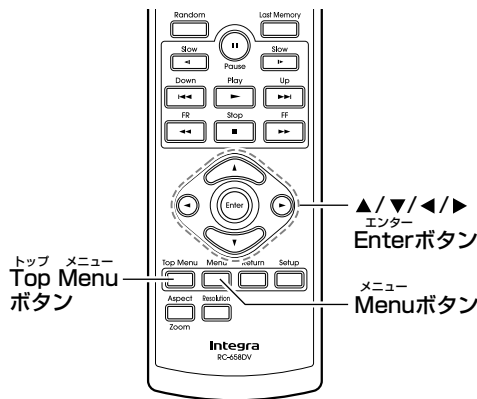
AVセンターなどのマルチチャンネルアナログ入力端子と接続してください。(☞23ページ)

- AVセンターなどの2チャンネル音声入力端子と本機のANALOG AUDIO OUT D.MIX端子を接続しているときは、2チャンネルでの再生になります。
「アナログ音声出力の設定」でサブウーファー、センタースピーカー、サラウンドスピーカーを「オフ」に設定してください。(☞43ページ)
- AVセンターなどのデジタル入力端子と接続しているときは、2チャンネル(デジタル音声)での再生になります。ただし、ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。

■DVDビデオコンテンツが収録されているディスクの再生

収録されているDVDビデオコンテンツを再生することができます。(☞53ページ)

DVD-RW VRモードを再生する DVD-RW (VR)

DVD-RW(VRモード)には、ディスクに実際に記録される「タイトルリスト(オリジナルリスト)」と、それを元に編集して作成される「プレイリスト」の2種類があります。詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

■タイトルリストを表示する

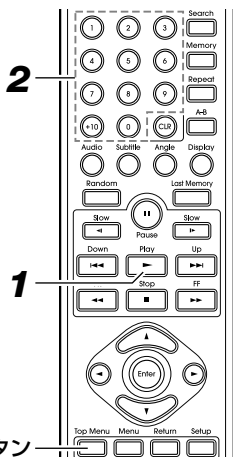
1. Top Menuボタンを押して、タイトルメニューを表示させます。
2. ▲/▼ボタンで再生したいタイトルを選び、Enterボタンを押してください。

■プレイリストを表示する

ディスクにプレイリストが記録されているとき、Menuボタンでプレイリストを表示することができます。

1. Menuボタンを押します。
2. ▲/▼ボタンで再生したいプレイリストを選び、Enterボタンを押してください。

ビデオCDのPBC再生をする VCD

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1

PBC再生対応ディスクを入れ、Play(プレイ)ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。
- ディスクによって、表示内容が異なります。

2

数字ボタンで再生したいトラックを選ぶ

再生を始めます。
- 再生中にReturn(リターン)ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

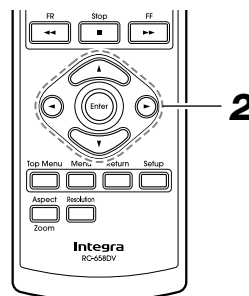
メニュー画面のページをめくる、または戻すには…

メニュー画面を表示中にUp(アップ)▶▶|ボタン、またはDown(ダウン)|◀◀ボタンを押します。

■メニュー画面を出さずに再生するには(PBC再生を解除して再生する)

Top Menu(トップ メニュー)ボタンを押して、「PBCオフ」にしてください。

CDやSACDを再生する CD SACD

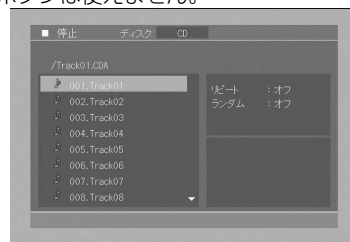
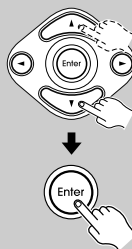
CDやSACDを再生するときは、本機のディスクナビゲーターが表示されます。テレビ画面でトラックを選び再生することができます。

1

CDやSACDディスクをセットする

ディスクナビゲーター画面が表示されます。

2

▲/▼ボタン使ってトラックを選び、Enter(エンター)ボタンを押して再生する

ランダム再生中やメモリー再生中は▲/▼ボタンは使えません。

SACDの再生について

SACDに収録されている音声フォーマットは、マルチチャンネルエリア、2chエリア、CDエリアの3種類があります。ディスクに記載されている収録フォーマットをご確認ください。

Stereo(ステレオ):2チャンネル(ステレオ)で収録されています。

Stereo Multi-ch(ステレオマルチチャンネル): 2チャンネル(ステレオ)とマルチチャンネルで収録されています。

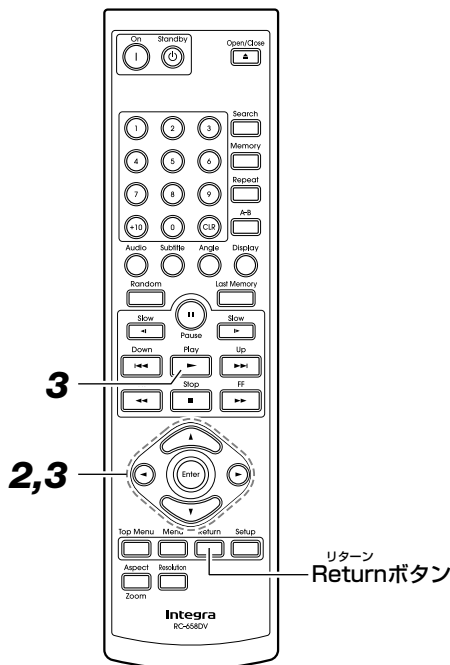
Hybrid(ハイブリッド):SACDの音声フォーマットの他にCD音声が収録(CD層)されたもので、通常のCDプレーヤーでも再生できます。

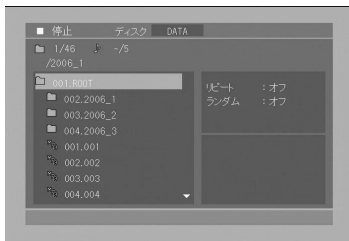
Audio(オーディオ)ボタンを押して、エリアを切り換えることができます。
本機は、優先して再生するエリアを設定できます。(☞53ページ)

ご注意

再生中にSACDのエリアを切り換えると停止します。

MP3、WMA、DivXを再生する

MP3、WMA、DivXを再生するときは、本機のディスクナビゲーターが表示されます。テレビ画面でトラックを選んで再生することができます。記録方法やデータによっては、再生できない場合があります。

1 ディスクをセットする

自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。

フォルダとトラックには、自動的に番号が割り当てられます。

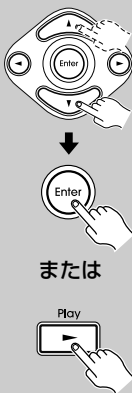
2 ▲/▼ボタンを押してフォルダを選び、Enter（エンター）ボタンを押す

フォルダが開き、1つ下の階層が表示されます。

フォルダを閉じて前の手順に戻るには

Return（リターン）ボタンを押します。または、リストの一番上に表示されたフォルダを選んでEnter（エンター）ボタンを押してください。

前後のフォルダを表示するには

◀/▶ボタンを押して、前後の再生トラックが入っているフォルダを表示することができます。

3 ▲/▼ボタンで再生したいトラックを選び、Enterボタンまたは Play（プレイ）▶ボタンを押す

または

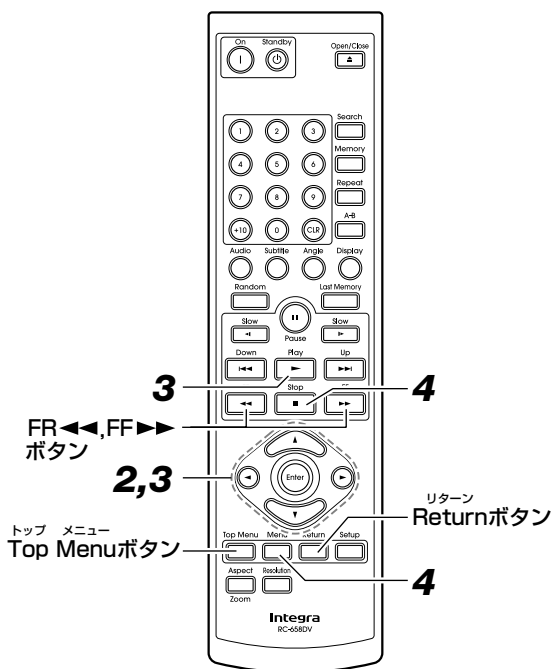
再生が始まります。

ID3タグの情報がある場合は、テレビ画面にタイトル名、アーティスト名、アルバム名などが表示されます。

！ヒント

ランダム再生中またはメモリー再生中は、◀/▶/▲/▼ボタンでのディスクナビゲーター画面の操作はできません。

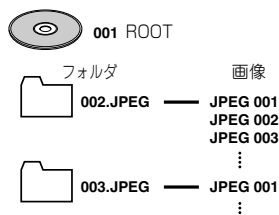
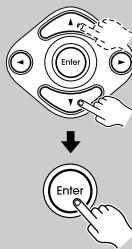
JPEG画像をスライドショーする

テレビ画面でJPEG画像を見ることができます。JPEGとは、静止画の圧縮方式です。記録方法やデータによって再生できない場合や操作に制限がかかることがあります。

1

JPEG(画像)データの入ったディスクをセットする

自動的にディスクナビゲーター画面が表示されます。

フォルダと画像には自動的に番号が割り当てられます。

2

▲/▼ボタンを押して「フォルダ」を選び、Enterボタンを押す

フォルダが開き、1つ下の階層のフォルダや画像が表示されます。

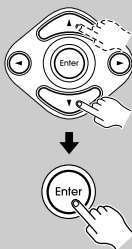
フォルダを閉じて前の手順に戻るには

Returnボタンを押します。または、リストの一番上に表示されたフォルダを選んでEnterボタンを押してください。

前後のフォルダを表示するには

◀/▶ボタンを押して、前後の再生画像が入っているフォルダを表示することができます。

3

または

▲/▼ボタンで画像を選び、Enterボタンまたは Play▶ボタンを押す

スライドショーが始まります。各画像が5秒ずつ表示されます。
スライドショー中は以下の操作ができます。

画像を回転させる

▲/▼/◀/▶ボタンを押します。
ズーム機能を使っているときは、操作できません。

ズーム機能を使う

FR◀◀/FF▶▶ボタンを押します。
ズーム中は▲/▼/◀/▶ボタンで画像を移動します。

- 画像によってはズームできないものもあります。

4

または

Stop■ボタンまたはMenuボタンを押して、スライドショーを停止する

サムネイル一覧を表示する

画像の入ったフォルダが選ばれているときに、Top Menuボタンを押します。サムネイル一覧画面が表示されます。▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、Enterボタンを押してスライドショーを始めることができます。Menuボタンを押してディスクナビゲーター画面に戻ります。

HD JPEGについて（HDMI出力時のみ）

テレビやAVアンプとHDMI接続し、解像度を720pや1080iに設定しているときに、HD JPEGモードをオンにすると、JPEG画像を高画質で見ることができます。
詳しくは、47ページをご覧ください。

いろいろな再生

見たい/聞きたい場所を探す

タイトル/チャプター/トラック/グループ／フォルダを指定して再生する

DVD-V　DVD-RW (VR)　VCD　SACD　CD　MP3 WMA

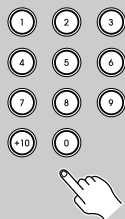
1

再生中にSearchボタンを押す

サーチ画面が表示されます。

DVDビデオの場合

サーチ					
ディスク	タイトル		チャプター		
DVD-VIDEO	現在/総数	1/ 6	現在/総数	1/ 2	

2

数字ボタンで希望のチャプターまたはトラックを入力する

◀/▶ボタンでタイトル/グループ/フォルダとチャプター/トラックの選択を切り換え、数字ボタンで番号を指定します。

例：
- 3を選ぶには「3」を押します。
- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

取り消したい場合はCLRボタンを押します。

3

または

Play▶ボタンまたはEnterボタンを押す

再生が始まります。

！ヒント

- ディスクナビゲーター画面を表示しなくても数字ボタンで直接チャプターやトラックを選択することもできます。（10を選ぶには「＋10」と「0」を押します。23を選ぶには、「＋10」、「＋10」と「3」を押します。）
- ディスクによっては､サーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中やメモリー再生中は、サーチできません。
- ビデオCDのPBC再生中は、サーチ機能が使えません。
- VRモードのプレイリストには、サーチ機能が使えません。

タイムサーチを使って再生する

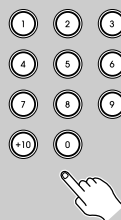
DVD-V　DVD-RW (VR)　VCD　SACD　CD

再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

再生中にSearchボタンを2回押す

サーチ画面が表示されます。

2

数字ボタンで再生したい時間を入力する

再生中のタイトル、トラック内の時間を指定できます。

例：
- 21分43秒を選ぶには、「2」、「1」、「4」、「3」と押します。
- 1時間14分を選ぶには「1」、「1」、「4」、「0」、「0」と押します。

取り消したい場合はCLRボタンを押します。

3

または

Play▶ボタンまたはEnterボタンを押す

再生が始まります。

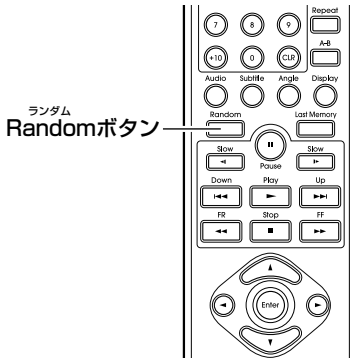
！ヒント

- ディスクによっては、指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによっては､サーチ機能を禁止しているものがあります。
- ランダム再生中やメモリー再生中は､タイムサーチはできません。

順不同に再生をする（ランダム再生）

DVD-V DVD-A VCD SACD CD MP3 WMA

タイトル、グループやフォルダをランダム再生することができます。

1

Random

再生中にRandom（ランダム）ボタンを（くり返し）押し、ランダム再生の種類を選ぶ

DVDビデオ：
タイトルランダム、ディスクランダム

DVDオーディオ：
グループランダム

SACD、ビデオCD、CD：
ディスクランダム

MP3、WMA：
フォルダランダム、ディスクランダム

再生中のチャプター/トラックが終了した後、ランダム再生が始まります。

ご注意

- ディスクによっては、ランダム再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にランダム再生はできません。
- ランダム再生中にサーチ機能は使えません。
- ビデオCDのPBC機能がオンのときは、ランダム再生できません。
- メニュー画面表示中はランダム再生できません。
- JPEGファイルはランダム再生できません。

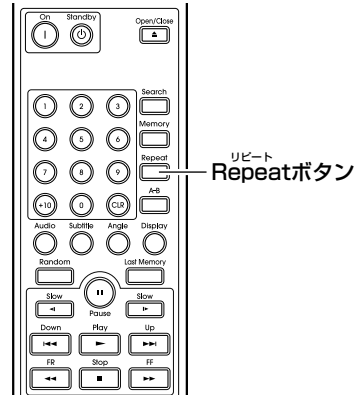
通常の再生に戻すには

画面に「ランダム解除」と表示されるか、表示部の「RANDOM（ランダム）」インジケーターが消えるまで、Randomボタンを（くり返し）押します。

くり返し再生をする（リピート再生）

DVD-V DVD-A DVD-RW (VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG

選んだチャプターやトラックをくり返し再生したり、ディスクをくり返し再生することができます。
メモリー再生と組み合わせて使うことができます。

1

再生中にRepeat（リピート）ボタンを（くり返し）押し、リピート再生の種類を選ぶ

DVDビデオ：
チャプターリピート、タイトルリピート、ディスクリピート

DVD-RW（VR）：
タイトルリピート、チャプターリピート

DVDオーディオ：
トラックリピート、グループリピート

SACD、ビデオCD、CD：
トラックリピート、ディスクリピート

MP3、JPEG、WMA：
トラックリピート、フォルダリピート、ディスクリピート

リピート再生が始まります。

！ヒント

メモリー再生中にRepeatボタンを押すと、メモリーをくり返し再生します。

ご注意

- ディスクによっては、リピート再生を禁止しているものがあります。
- メニュー画面表示中はリピート再生できません。

通常の再生に戻すには

画面に「リピート解除」と表示されるか、表示部の「REPEAT（リピート）インジケーター」が消えるまでRepeatボタンを（くり返し）押します。

選んだ部分だけをくり返し再生する（A−Bリピート再生）

DVD-V VCD SACD CD MP3

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

1 再生中にくり返したい場所の始め（A点）でA-Bボタンを押す

2 くり返したい場所の終わり（B点）でA-Bボタンを押す

A点からB点までをくり返し再生します。

！ヒント

- ディスクによっては、指定した箇所より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- ディスクによっては、A-Bリピート再生を禁止しているものがあります。
- ビデオCDのPBC機能がオンのときは、A-Bリピート再生はできません。

通常の再生に戻すには

もう一度A-Bボタンを押す

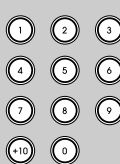
画面に「リピートオフ」と表示され、通常の再生に戻ります。

メモリー再生をする

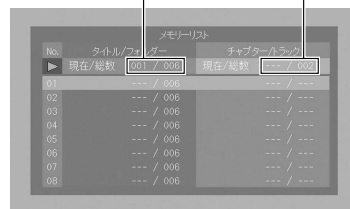
DVD-V SACD VCD CD MP3 WMA

チャプターやトラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大32ステップまでメモリーできます。スタンバイ状態にするとメモリーは解除されます。

1 Memory（メモリー）ボタンを押す

メモリープレイ設定画面が表示されます。

2 数字ボタンでメモリーしたいチャプターやトラックを指定し、Enter（エンター）ボタンを押す

◀/▶ボタンで、タイトル/グループ/フォルダの入力欄とチャプター/トラックの入力欄を選択できます。

タイトル/グループ/フォルダを入力するとき　　チャプター/トラックを入力するとき

例：

- 37を選ぶには「3」と「7」を押します。

入力した数字を消したい場合は、CLR（クリア）ボタンを押します。

3

手順2をくり返して、メモリーリストを作る

4

Play▶ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

メモリー再生を停止するには

Stop■ボタンを押します。

このときに、CLRボタンを押してメモリーリストを消去することができます。

メモリー再生を止めて通常の再生に戻るときは、Stop■ボタンをもう1度押してからPlay▶ボタンを押してください。

メモリーリストに新しい項目を挿入するには

1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる
2. ▲/▼(カーソル)ボタンで挿入したい場所を選び、Enterボタンを押す

メモリーリスト

No.	タイトル/フォルダー	チャプター/トラック
▶	現在/総数 001 / 006	現在/総数 --- / 002
01	001 / 006	001 / 002
02	--- / 006	--- / ---
03	003 / 006	ALL / 002
04	002 / 006	003 / 003
05	--- / 006	--- / ---
06	--- / 006	--- / ---
07	--- / 006	--- / ---
08	--- / 006	--- / ---

3. 数字ボタンでメモリーしたいチャプターやトラックを入力し、Enterボタンを押す

メモリーした項目を消去するには

1. Memoryボタンを押して、メモリープレイ設定画面を表示させる
2. ▲/▼(カーソル)ボタンで消去したい項目を選び、CLRボタンを押す

現在再生中のメモリー項目は、消去できません。

メモリープレイ設定画面を終了するには

1. Returnボタンを押す

！ヒント

- ディスクによっては、メモリー再生を禁止しているものがあります。
- メモリー再生中にサーチ機能は使用できません。
- メモリーリストは、スタンバイ状態にしたりディスクトレイを開閉すると、消去されます。
- JPEG画像は、メモリー再生できません。
- ビデオCDのPBC機能がオンのときは、メモリー再生できません。

ディスクの情報を見る

DVD-V DVD-A DVD-RW (VR) VCD SACD CD MP3 WMA JPEG DivX

再生中にDisplayボタンを押す

ボタンを押すごとに経過時間や残量などのディスク情報が画面や表示管に表示されます。

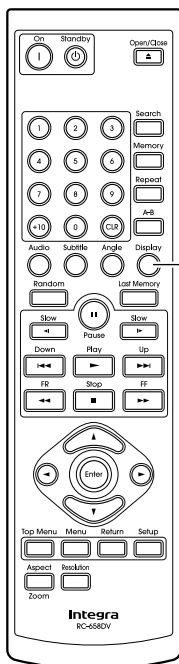
例：DVDビデオ
1回押すと･･･
タイトル情報画面

► 再生	ディスク DVD			
タイトル	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
	1/6	00:00:23	00:00:10	00:00:32
オーディオ	1/1 Dolby Digital 2 Ch			アングル
字幕言語	オフ			1/1

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

- ディスクによっては、Displayボタンを押すごとに表示内容が切り換わります。
- Displayボタンを数回押すと、表示が消えます。

！ヒント

SACD、CD、MP3、WMAディスクは、常に情報が表示されています。

画面をズーム（拡大）するには

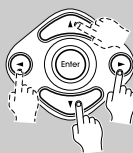
DVD-V DVD-RW (VR) VCD JPEG

再生中、一時停止中に好みの部分をズーム（拡大）することができます。

1

再生中、一時停止中にZoomボタンを2秒間押して、画面をズーム（拡大）する

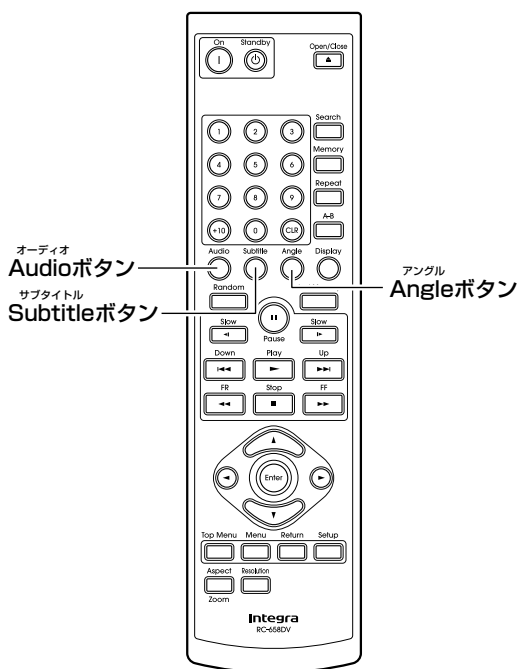
さらにズームするには、Zoomボタンをくり返し押します。
「ズームオフ」と表示されたら、標準画面に戻ります。
拡大の倍率や段階は、画像の解像度によって変わります。

2

ズームエリア表示中に▲/▼/◀/▶ボタンで好みの場所に移動する

ご注意

- ズーム中は字幕が表示されません。
- ディスクによっては、ズーム機能を禁止しているものがあります。
- HD JPEGモードのときは、ズームできません。
- DVDやビデオCDのメニュー画面が表示されているときは、ズームできません。

！ヒント

拡大すると画像精度は、粗くなります。

音声を切り換える DVD-V DVD-A VCD SACD

複数の言語で音声が記録されているディスクでは、再生する音声言語を切り換えることができます。

再生中にAudio（オーディオ）ボタンを（くり返し）押して、希望の音声言語を選ぶ

- DVDビデオの中にはディスクメニューから音声言語を選ぶディスクもあります。このような場合は、Top Menu（トップ メニュー）ボタンを押してください。
- 音声言語の初期設定については「音声言語を選ぶ」（☞50ページ）をご覧ください。
- ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定に戻ります。

！ヒント

- ビデオCDでは、「アナログ音声出力の設定」（☞43ページ）でフロントスピーカー以外を「オフ」に設定しているときに、ステレオ、左、右、ミックスが切り換わります。
- SACDでは、収録されているマルチチャンネルエリア、2チャンネルエリア、CDエリアが切り換わります。（☞33ページ）
- DivXファイルに複数の音声フォーマットが記録されているときは、音声を切り換えることができます。

字幕言語を切り換える DVD-V

複数の言語で字幕が記録されているDVDビデオでは、表示する字幕を切り換えることができます。

再生中にSubtitle（サブタイトル）ボタンを（くり返し）押して、希望の字幕言語を選ぶ

「オフ」を選ぶと、字幕が表示されません。

- DVDビデオの中にはディスクメニューからサブタイトルを選ぶディスクもあります。このような場合は、Top Menu（トップ メニュー）ボタンを押してください。
- 字幕言語の初期設定については「字幕言語を選ぶ」（☞50ページ）をご覧ください。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定に戻ります。
- DivXファイルに複数言語の字幕が記録されているときは、字幕を切り換えることができます。

カメラアングルを切り換えるには DVD-V

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。
複数のアングルが収録されている場所にくると、ディスプレイにマークが表示されます。

マークが表示されたら、Angle（アングル）ボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

！ヒント

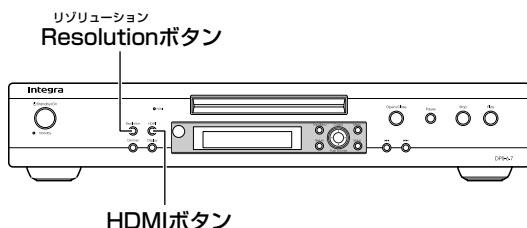
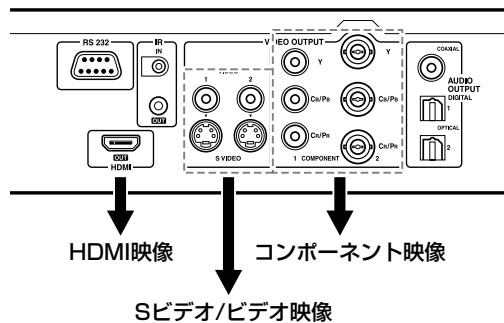
- ディスクによってはマークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- ディスクのメニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

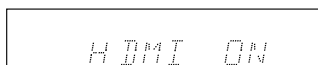
映像と音声の設定をする

映像に関する設定

テレビやAVアンプとHDMI接続をしていてHDMIの解像度を変更したいときや、HDMI接続をしていないときに映像が正しく映らないときは、このページをご覧になり設定してください。

HDMI映像が出ないとき
➡HDMI ONに設定して解像度を変えてみてください。

その他の映像が出ないとき
➡解像度を480pに設定してみてください。
➡HDMI OFFにしてみてください。

HDMIを出力する/HDMIを出力しない

お買い上げ時の設定では、HDMI出力をする設定になっています。

本体のHDMIボタンを(くり返し)押してください。

HDMI ON（オン）：HDMI出力します。
HDMIが正しく接続されていることが確認されると、本体のHDMIインジケーターが点灯します。HDMIインジケーターが点滅し続けるときは、58ページの「HDMIで困ったときは」をご覧になり、解決のヒントをご確認ください。

HDMI OFF（オフ）：HDMI出力しません。
コンポーネント出力は、インターレースに切り換わります。プログレッシブに切り換えるには、47ページの「プログレッシブ設定」をご覧ください。

HDMIの解像度を設定する

お買い上げ時の設定では、「480ｐ」(720×480p 60Hz)に設定されています。
お使いのテレビが720pや1080iの解像度に対応している場合、さらに高画質で見ること ができます。

設定によってはHDMI以外のビデオ出力端子から映像が出ないことがありますので、説明をよくお読みになり設定してください。

本体またはリモコンのResolution（リゾリューション）ボタンを（くり返し）押してください。

自動：
テレビ側の推奨する解像度によって出力する解像度が自動的に選択されます。本機がその解像度に対応していないときは480pで出力されます。
720pや1080iで出力された場合、HDMI以外のビデオ出力端子から映像が出力されません。

480p（720×480p 60Hz）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子からも映像を出力することができます。
ただし、コンポーネント出力はプログレッシブになり、本体のプログレッシブインジケーターが点灯します。

720p（1280×720p 60Hz）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子から映像は出力されません。

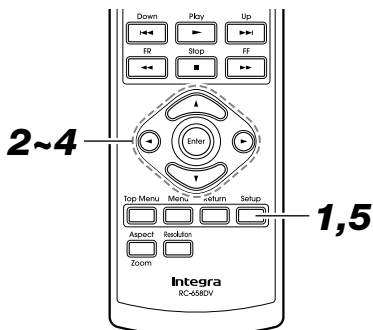
1080i（1920×1080i 60Hz）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子から映像は出力されません。

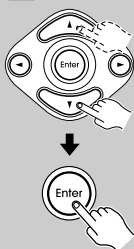
！ヒント

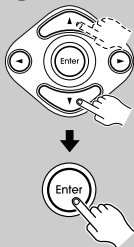
- 本機では、解像度を有効走査線数（４８０ｐ、７２０ｐ、1080i）で表示しています。
  機器によっては、総走査線数（525p、750p、1125i）を表示する場合もあります。

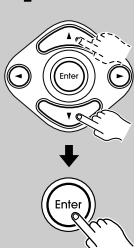
アナログ音声出力の設定

お買い上げ時は、アナログマルチチャンネル音声を出力する設定になっています。テレビなどとアナログ2チャンネル接続（FRONT/D.MIX L/R接続）をしているときは、説明をお読みになり、設定を変更してください。

1

Setup（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示する

2

▲/▼ボタンで「オーディオ」を選び、Enter（エンター）ボタンを押す

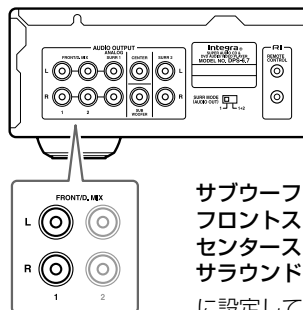
3

▲/▼ボタンで「サブウーファー」、「フロントスピーカー」、「センタースピーカー」または「サラウンドスピーカー」を選び、Enterボタンを押す

4

▲/▼ボタンで設定したい選択肢を選び、Enterボタンを押す

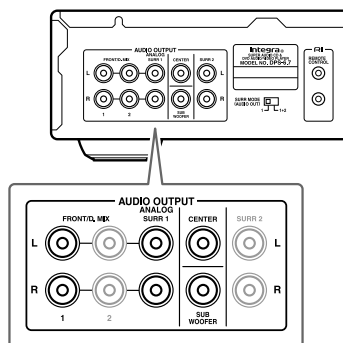
5

Setupボタンを押して設定を終了する

＜設定方法＞

アナログ2チャンネル接続をしているときは・・・

サブウーファー：オフ
フロントスピーカー：大
センタースピーカー：オフ
サラウンドスピーカー：オフ
に設定してください。

アナログマルチチャンネル接続をしているときは・・・

アンプに接続したスピーカーの数に合わせて、アナログマルチチャンネル接続し、設定を行ってください。

サブウーファー：オン* または オフ
フロントスピーカー：大 または 小* または オフ
センタースピーカー：大 または 小* または オフ
サラウンドスピーカー：大 または 小* または オフ

*お買い上げ時の設定です。

ご注意

- 「大」「小」の設定は接続しているスピーカーの大きさで選んでください。目安として、「大」はスピーカーの口径が16cm以上、「小」は16cm未満のときに設定してください。
- サブウーファーがオフのときはフロントスピーカーは自動的に「大」に設定されます。
- フロントスピーカーが「小」に設定されているときは、センター/サラウンドスピーカーは「大」が選べません。
- センタースピーカーとサラウンドスピーカーは、同じサイズしか選ぶことはできません。
- 192 k Hz/176.4kHzのDVDオーディオにはこの設定は反映されません。
- 「SACD音声出力設定」（☞49ページ）で「DSD」を選んでいるときは、SACDの再生時にこの設定は反映されません。

応用設定をする

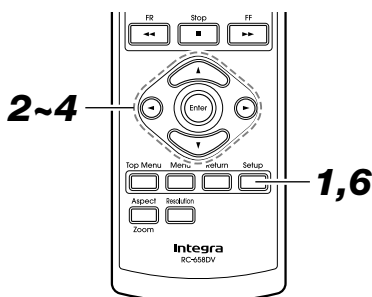
本機は以下の設定を変更することができます。

設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
画像	TV画面形状	接続したモニター/テレビに合わせて映像の縦横比を選びます。	46
	ビューモード	画面の表示モードを切り換えます。	46
	HDMI出力設定	HDMI出力端子から出力するかしないかを設定します。	42、46
	プログレッシブ設定	コンポーネント端子からプログレッシブ出力するか、インターレース出力するかを設定します。	47
	解像度	HDMI出力する映像の解像度を設定します。	42、47
	HD JPEGモード	JPEG画像を高画質で表示するHD JPEGモードを設定します。	47
	黒レベル	黒色を調整します。	47
	明るさ	画像の明るさを調整します。	47
	シャープネス	画像の鮮明度を調整します。	47
オーディオ	デジタルオーディオ出力	デジタル出力端子とHDMI出力端子から出るデジタル音声の設定をします。	48
	リニアPCM出力	リニアPCM音声をダウンサンプリングするかどうかを設定します。	48
	サブウーファー フロントスピーカー センタースピーカー サラウンドスピーカー	アナログ音声を2チャンネルで出力するか、マルチチャンネルで出力するかを設定します。	43
	試聴音	マルチチャンネル出力からテストトーンを出力します。	48
	センター遅延時間	センタースピーカーの設置位置を設定します。	48、49
	サラウンド遅延時間	サラウンドスピーカーの設置位置を設定します。	48、49
	Dレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロールを設定します。	49
	Dolby Pro Logic設定	内蔵プロロジックデコーダーの設定をします。	49
	SACD音声出力設定	SACDのDSDを再生するか、PCMで再生するかを切り換えます。	49
	ダウンミックス設定	ドルビーデジタルやDTS信号のダウンミックス方法を切り換えます。	49
言語	画面表示言語	画面表示に使う言語を選びます。	50
	ディスクメニュー言語	ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。	50
	音声言語	音声言語を選びます。	50
	字幕言語	字幕言語を選びます。	50
	DivX字幕言語	DivXの字幕言語を選びます。	50
表示	画面表示	再生や停止などの動作状態の画面表示を設定します。	52
	画面表示色	ナビゲーターや背景の色を設定します。	52
	背景	背景のグラフィックや色を設定します。	52
	スクリーンセーバー	画面焼き付き防止機能の設定をします。	52

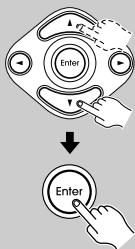
設定マーク	設定項目	内容	参照ページ
機能設定	パレンタルロック	視聴制限機能の設定をします。	52
	暗証番号	視聴制限の暗証番号を設定します。	53
	DVD優先再生	DVDオーディオのビデオコンテンツを優先再生するかどうかを設定します。	53
	SACD優先再生	優先して再生するSACDの再生エリアを設定します。	53
	自動電源オフ	再生停止後、20分間何も操作しないと自動的に電源がスタンバイ状態になる機能の設定をします。	53
	DivXレジストレーション	DivXレジストレーションコードを表示します。	53
基本設定	TV画面形状	接続したモニター/テレビに合わせて映像の縦横比を選びます。	27
	HDMI出力設定	HDMI出力端子から出力するかしないかを設定します。	27
	画面表示言語	画面表示に使う言語を選びます。	27

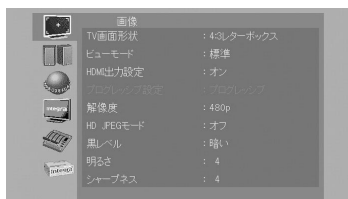
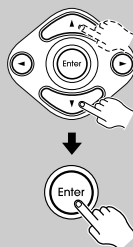
設定のしかた

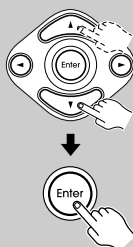
モニター/テレビ画面を使って応用設定をします。
モニター/テレビの電源を入れ、入力を本機を接続した入力に切り換えてください。

1

Setupボタンを押す

設定メニューが表示されます。

2

▲/▼ボタンを押して設定したい設定マークを選び、Enterボタンを押す

画像、オーディオ、言語、表示、機能設定、基本設定から選びます。

3

▲/▼ボタンを押して設定項目を選び、Enterボタンを押す

4

▲/▼ボタンを押して設定したい選択肢を選び、Enterボタンを押す

5

手順*2*、*3*、*4* をくり返して設定をする

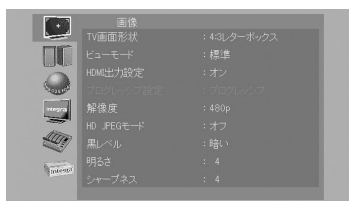
6

Setupボタンを押す

設定が終了し、設定画面が消えます。

ご注意

設定状況によって変更できない項目があります。それらの項目は、灰色の文字で表示されます。

「映像」の設定をする

TV画面形状
（テレビに合わせて映像の縦横比を選ぶ）

この設定は、「基本設定をする」(☞27ページ）の中の「TV画面形状」と同じ設定です。
本機に接続したテレビにあわせて設定してください。

4：3レターボックス：

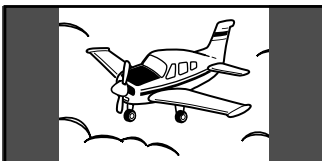
従来サイズのテレビと接続し、映画などの16：9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を再現する方式)で見たいときに選択します。（お買い上げ時の設定）

4：3パンスキャン：

従来サイズのテレビと接続し、映画などの16：9の映像をパンスキャン方式(16：9の映像の左右をカットして、4：3の画面全体に映し出す方式)で見たいときに選択します。
ディスクがパンスキャン方式に対応していないときは、レターボックス方式で表示されます。

16：9ワイド：

ワイドテレビと接続したときに選択します。テレビによっては、4：3の映像を引きのばして表示します。

16：9シュリンク：

ワイドテレビと接続したときに選択します。「16：9ワイド」を選んだときに、4：3の映像が引きのばされて表示される場合は、こちらを選んでください。HDMIの解像度が720pや1080iに設定されているときは、こちらを選ぶと、4：3の映像をそのままの比率で見ることができます。

！ヒント

- ディスクによっては、この設定の効果がない場合があります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- テレビ側の設定もご確認ください。

ビューモード（画面モードを切り換えます）

この設定では、お使いのテレビに合わせて画像を表示する「ビューモード」(画面モード）を切り換えることができます。
テレビやディスクのアスペクト比によって、画面の上下や左右に黒い部分が表示される場合、お好みで切り換えてください。

標準：
通常の表示です。（お買い上げ時の設定）

ビューモード1：
テレビの上下を合わせて画像を左右に拡大します。この場合、画像の左右の端が切れて表示されることがあります。

ビューモード2：
テレビの左右を合わせて画像を上下に拡大します。この場合、画像の上下の端が切れて表示されることがあります。

ビューモード3：
テレビの上下左右を拡大して画像を表示します。

！ヒント

リモコンのAspect（アスペクト）ボタンでも切り換えることができます。

ご注意

DVDやビデオCDのメニュー画面には効果はありません。

HDMI出力設定

HDMI端子から出力するかしないかを設定することができます。お買い上げ時の設定ではHDMI出力をする設定になっています。42ページの「映像に関する設定」もご覧ください。

オン：
HDMI出力します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
HDMI出力しません。

！ヒント

本体

本体のHDMIボタンでも切り換えることができます。（☞42ページ）

ご注意

「オン」に設定したときは、解像度の設定（47ページ）によって、ビデオ、Sビデオ、コンポーネント端子から映像が出ないことがあります。

プログレッシブ設定（プログレッシブ/インターレースを切り換える）

コンポーネント端子に出力される映像をインターレースまたはプログレッシブに切り換える設定です。「HDMI出力設定」を「オン」に設定しているときは、自動的にプログレッシブ出力になり、設定を変更することはできません。

プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとコンポーネント端子接続（☞21ページ）しているときに選択します。

インターレース：
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに選択します。

！ヒント

HDMI出力設定を「オフ」に設定しているときは、本体やリモコンのResolution（リゾリューション）ボタンでインターレースとプログレッシブを切り換えることができます。

解像度（HDMIの解像度を設定する）

HDMI接続しているテレビが720pや1080iの解像度に対応している場合、設定を変更してさらに高画質で見ることができます。詳しい設定方法は、42ページの「映像に関する設定」をご覧ください。

設定によってはHDMI以外のビデオ出力端子から映像が出ないことがありますので、説明をよくお読みになり設定してください。

自動：
テレビ側の推奨する解像度によって出力する解像度が自動的に選択されます。本機がその解像度に対応していないときは480pで出力されます。720pや1080iで出力された場合、HDMI以外のビデオ出力端子から映像が出力されません。

480p：
（720×480p 60Hz）（お買い上げ時の設定）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子からも映像を出力することができます。ただし、コンポーネント出力はプログレッシブになります。

720p：
（1280×720p 60Hz）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子から映像は出力されません。

1080i：
（1920×1080i 60Hz）：
この設定にしているときは、HDMI以外のビデオ出力端子から映像は出力されません。

！ヒント

「ＨＤＭＩ出力設定」が「オン」のとき、本体やリモコンのResolutionボタンでも切り換えることができます。（☞42ページ）

HD JPEGモード

HD JPEGモードとは、JPEG画像を高画質で表示する機能です。テレビとHDMI接続していて、「解像度」を720pや1080iに設定しているときに使用できる機能です。

オン：
JPEGを高画質で表示します。

オフ：
通常の設定です。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- 本設定を「オン」に設定しても、HDMI接続をしていないとき、「HDMI出力設定」を「オフ」にしているときや「解像度」が720pまたは1080i以外に設定されているときは、高画質で見ることはできません。
- 本設定を「オン」に設定すると、JPEGを表示するときに時間がかかる場合があります。また、ズーム機能は使えません。
- JPEG画像の解像度によっては、画像が小さく表示されることがあります。

黒レベル

この設定では、アナログ映像出力時の黒色の濃さを設定することができます。ただし、コンポーネント端子からプログレッシブ出力しているときは、効果がありません。

明るい：
画面が少し明るくなります。

暗い：
標準の設定です。（お買い上げ時の設定）

明るさ

画面の明るさを調整します。
1から7段階に調整できます。
1が一番暗く、7に近づくにつれて明るくなります。
4がお買い上げ時の設定です。

シャープネス

画像の鮮明度を調整します。
1から7段階に調整できます。
7に近づくにつれて画像がくっきり見えます。
4がお買い上げ時の設定です。

「オーディオ」の設定をする

■デジタル音声の設定

デジタルオーディオ出力（デジタル/HDMI音声出力の設定）

デジタル音声端子やHDMI端子から出力する音声の種類を設定することができます。接続したテレビやAVアンプがドルビーデジタルやDTSに対応していないときは、ここでPCMに設定してください。

オール：
ドルビーデジタルやDTSのデジタル信号をそのまま出力します。（お買い上げ時の設定）

PCM：
ドルビーデジタルやDTSのデジタル信号をリニアPCMに変換して出力します。ドルビーデジタルやDTSに対応していないテレビや、AVアンプと接続しているときは、この設定にしてください。

オフ：
デジタル出力しません。デジタル音声端子やHDMI端子からは音が出なくなります。

ご注意

MPEG音声は常にPCMに変換されて出力します。

リニアPCM出力（PCMのダウンサンプリング設定）

接続したAVアンプやデコーダーが88.2kHz以上のサンプリング周波数のPCMに対応していないときは、ここでダウンサンプリングオンに設定してください。

ダウンサンプリングオン：
各系統の音声周波数を48kHz以下にダウンサンプリングして出力します。

ダウンサンプリングオフ：
ダウンサンプリングせずそのままの信号を出力します。（お買い上げ時の設定）

■アナログ音声の設定

サブウーファー/フロントスピーカー/センタースピーカー/サラウンドスピーカーの設定

43ページの「アナログ音声出力の設定」をご覧ください。

試聴音（アナログマルチチャンネル音声のレベル調整）

アナログマルチチャンネル接続したAVアンプに、レベル調整機能がある場合、ここで本機から試聴音を出力して調整することができます。
お使いのAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

1. ▲/▼ボタンでスピーカーを選び、Enter（エンター）ボタンを押すと選択したスピーカーから試聴音が出ます。

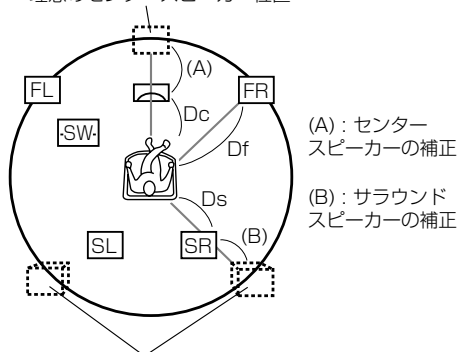
2. AVアンプ側でアナログマルチチャンネルのレベル調整を行ってください。

3. 調整が終わったら「オフ」を選んでEnterボタンを押して終了してください。

ご注意

試聴音はデジタル音声端子やHDMI端子からは出力しません。

センター／サラウンド遅延時間（センタースピーカーとサラウンドスピーカーの位置設定）

この設定では、アナログマルチチャンネル音声を再生したときのスピーカーの位置を設定します。スピーカーは視聴位置を中心とした円上に配置することが理想的です。しかし、実際にはこのように配置することは困難ですので、この設定で補正を行い理想の音場に近づけることができます。
視聴位置からフロントスピーカーの距離を基準に設定します。

Dc：センタースピーカーの位置
Ds：サラウンドスピーカーの位置

センター遅延時間（センタースピーカーの補正）
(A) センタースピーカーの補正 ＝ Df - Dc

オフ：
センタースピーカーを理想の位置に配置しているときに選びます。（お買い上げ時の設定）

1msec：（A）が約30cmのときに選びます。

2msec：（A）が約60cmのときに選びます。

3msec：（A）が約90cmのときに選びます。

4msec：（A）が約1.2mのときに選びます。

5msec：（A）が約1.5mのときに選びます。

サラウンド遅延時間（サラウンドスピーカーの補正）
(B) サラウンドスピーカーの補正 ＝ Df - Ds

オフ：
サラウンドスピーカーを理想の位置に配置しているときに選びます。（お買い上げ時の設定）

5msec：（B）が約1.5mのときに選びます。

10msec：（B）が約3mのときに選びます。

15msec：（B）が約4.5mのときに選びます。

ご注意

- 192kHz/176.4kHzのDVDオーディオには、この設定は効果がありません。
- ＳＡＣＤを再生するときに、この設定を有効にするには「SACD音声出力設定」をPCMに設定してください。

Dレンジコントロール（ドルビーデジタルの設定）

ダイナミックレンジコントロールをオンにすることで、映画の爆発音などの大きな音を小さく、聞き取りづらい小さい台詞などの音を大きくすることができます。深夜に映画を見るようなときに便利です。この機能はドルビーデジタル音声にのみ効果があります。

オフ：
通常の設定です。（お買い上げ時の設定）

オン：
ダイナミックレンジコントロールが働きます。

ご注意

- ディスクによってあまり効果のない場合もあります。
- スタンバイ状態にすると、自動的にオフに戻ります。
- 「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ）によっては、自動的にオンに設定されるときもあります。

Dolby Pro Logic設定（2チャンネル→マルチチャンネル再生の設定）

（ドルビー プロ ロジック）

この設定では、ドルビープロロジック処理をして2チャンネルソースをアナログマルチチャンネルで出力するか、処理をせずにアナログ2チャンネルのまま出力するかを設定します。

オン：
以下のソースをドルビープロロジック処理してアナログマルチチャンネルで再生します。

- 2チャンネルのドルビーデジタルで記録されたDVDビデオ
- 48kHz（16/20/24ビット）のPCMで収録されたDVDビデオ
- 音楽CD

オフ：
ドルビープロロジック処理をせず、アナログ2チャンネルのまま出力します。（お買い上げ時の設定）

ご注意

「オン」に設定していても、「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ）でセンターまたはサラウンドスピーカーがオフになっているときは、プロロジック処理されません。

SACD音声出力設定

この設定では、SACDを再生するときにDSD（ダイレクトデジタルストリーム）で再生するか、PCMで再生するかを設定します。

DSD：
「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ）にかかわらずソースのままのチャンネルで再生します。（お買い上げ時の設定）

PCM：
「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ）を反映して出力します。

ダウンミックス設定（マルチチャンネル→2チャンネル再生の設定）

この設定では、「アナログ音声出力の設定」(☞43ページ）で、フロントスピーカー以外を「オフ」に設定しているときに、どのようにマルチチャンネルソースを2チャンネル出力するか設定します。

ステレオ：
マルチチャンネルソースをステレオ音声にして出力します。 2チャンネルアンプやテレビと接続しているときに選んでください。（お買い上げ時の設定）

Lt/Rt：
ドルビープロロジック対応のAVアンプなどと接続しているときに選んでください。AVアンプ側でマルチチャンネルに変換して再生することができます。

「言語」の設定をする

DVDの中には、1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お好みで選べる機能を持っているものがあります。ここでは、言語に関する設定を行います。

！ヒント

- ディスクによってはディスクメニューから言語を選択できるものがあります。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていないことがあります。その場合はディスク独自の言語が選択されます。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていてもディスクで決められている言語になることがあります。

「その他」の言語を選んだとき

1. **「その他」を選び、Enter（エンター）ボタンを押す**
   言語コード入力欄が表示されます。
2. **◀/▶ボタンを押して入力欄を選ぶ**
3. **▲/▼ボタンを押して言語コードを入力する**
   51ページの言語コード表を参照してください。
4. **Enterボタンを押す**

画面表示言語を選ぶ

画面表示に使う言語を選びます。

English
Français
Español
Deutsch
Italiano
日 本 語（お買い上げ時の設定）

ディスクメニュー言語を選ぶ

ディスクメニューに複数の言語が入ったDVDを再生するときに、ディスクから表示されるメニューの言語を選びます。

英　語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
日 本 語（お買い上げ時の設定）
その他：51ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

音声言語を選ぶ

複数の音声言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に再生する音声言語を選びます。

英　語（お買い上げ時の設定）
フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
日 本 語
その他：51ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

字幕言語を選ぶ

複数の字幕言語が入ったDVDを再生するときに、自動的に表示する字幕言語を選びます。

英　語
フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
日 本 語（お買い上げ時の設定）
字幕無し：字幕を表示しません。
その他：51ページの言語コード表から任意の言語を選びます。

DivX字幕言語を選ぶ

複数の字幕言語が入ったDivXファイルを再生するときに、自動的に表示する字幕言語を選びます。

Unicode（UTF-8）：多言語を表示するための文字コードの一種です。日本語や韓国語の字幕を表示するときに選びます。（お買い上げ時の設定）
西ヨーロッパ
トルコ語
中央ヨーロッパ
シリル語
ギリシャ語
ヘブライ語
アラビア語
バルト語
ベトナム語

ご注意

ディスクによっては、違う言語が表示されたり、字幕が表示されないこともあります。

言語コード表

言語名	入力コード
日本語	JA
English	EN
French	FR
German	DE
Italian	IT
Spanish	ES
Chinese	ZH
Dutch	NL
Portuguese	PT
Swedish	SV
Russian	RU
Korean	KO
Greek	EL
Afar	AA
Abkhazian	AB
Afrikaans	AF
Amharic	AM
Arabic	AR
Assamese	AS
Aymara	AY
Azerbaijani	AZ
Bashkir	BA
Byelorussian	BE
Bulgarian	BG
Bihari	BH
Bislama	BI
Bengali	BN
Tibetan	BO
Breton	BR
Catalan	CA
Corsican	CO
Czech	CS
Welsh	CY
Danish	DA
Bhutani	DZ
Esperanto	EO
Estonian	ET
Basque	EU
Persian	FA
Finnish	FI
Fiji	FJ
Faroese	FO
Frisian	FY
Irish	GA
Scots-Gaelic	GD
Galician	GL

言語名	入力コード
Guarani	GN
Gujarati	GU
Hausa	HA
Hindi	HI
Croatian	HR
Hungarian	HU
Armenian	HY
Interlingua	IA
Interlingue	IE
Inupiak	IK
Indonesian	IN
Icelandic	IS
Hebrew	IW
Yiddish	JI
Javanese	JW
Georgian	KA
Kazakh	KK
Greenlandic	KL
Cambodian	KM
Kannada	KN
Kashmiri	KS
Kurdish	KU
Kirghiz	KY
Latin	LA
Lingala	LN
Laothian	LO
Lithuanian	LT
Latvian	LV
Malagasy	MG
Maori	MI
Macedonian	MK
Malayalam	ML
Mongolian	MN
Moldavian	MO
Marathi	MR
Malay	MS
Maltese	MT
Burmese	MY
Nauru	NA
Nepali	NE
Norwegian	NO
Occitan	OC
Oromo	OM
Oriya	OR
Panjabi	PA
Polish	PL

言語名	入力コード
Pashto, Pushto	PS
Quechua	QU
Rhaeto-Romance	RM
Kirundi	RN
Romanian	RO
Kinyarwanda	RW
Sanskrit	SA
Sindhi	SD
Sangho	SG
Serbo-Croatian	SH
Sinhalese	SI
Slovak	SK
Slovenian	SL
Samoan	SM
Shona	SN
Somali	SO
Albanian	SQ
Serbian	SR
Siswati	SS
Sesotho	ST
Sundanese	SU
Swahili	SW
Tamil	TA
Telugu	TE
Tajik	TG
Thai	TH
Tigrinya	TI
Turkmen	TK
Tagalog	TL
Setswana	TN
Tonga	TO
Turkish	TR
Tsonga	TS
Tatar	TT
Twi	TW
Ukrainian	UK
Urdu	UR
Uzbek	UZ
Vietnamese	VI
Volapük	VO
Wolof	WO
Xhosa	XH
Yoruba	YO
Zulu	ZU

「表示」の設定をする

画面表示（動作状態の表示を設定する）

DVD再生時の「停止」や「再生」などの動作状態の画面表示をする/しないを設定します。

オン：表示をします。（お買い上げ時の設定）

オフ：表示をしません。

画面表示色を設定する

ナビゲーターや背景の色を設定します。

パール（お買い上げ時の設定）

サファイア

アメジスト

ガーネット

背景を設定する

背景のグラフィックや色を設定します。

ブルー：青色で表示します。

グレー：灰色で表示します。

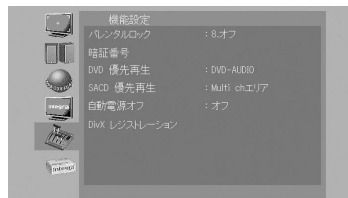
グラフィック：（お買い上げ時の設定）

スクリーンセーバーを設定する

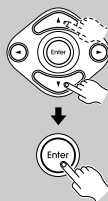
画面焼き付き防止機能の設定をします。

オン：15分間停止状態が続くと、スクリーンセーバー機能が働きます。（お買い上げ時の設定）

オフ：スクリーンセーバー機能は働きません。

「機能設定」をする

パレンタルロック（視聴制限を設定する）

暴力シーンなどを含むDVDの中には視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどで確認してください。）お子様に不適切なシーンを視聴させないように本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。お買い上げ時の設定は「8」（オフの状態）になっています。

1

▲/▼ボタンで「パレンタルロック」を選びEnter（エンター）ボタンを押す

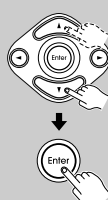
暗証番号の入力画面が表示されます。

2

数字ボタンで暗証番号を入力してEnterボタンを押す

お買い上げ時の暗証番号は「8888」です。この暗証番号は次の説明で変更することもできますが、「8888」は常に有効です。

入力を間違えたときは、CLR（クリア）ボタンで消すことができます。

3

▲/▼ボタンで「レベル」を選びEnterボタンを押す

視聴制限のレベルを設定してください。「8」がオフの状態です。

ご注意

- 視聴制限のないディスクは設定していても効果はありません。ディスクのジャケットなどで確認してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。

暗証番号（視聴制限の暗証番号を変更する）

1. ▲/▼ボタンで「暗証番号」を選びEnter（エンター）ボタンを押す
   暗証番号の入力画面が表示されます。
2. 数字ボタンで現在設定している暗証番号または「8888」を入力してEnterボタンを押す
   新しい暗証番号の入力画面が表示されます。
3. 数字ボタンで新しい暗証番号を入力してEnterボタンを押す
   新しい暗証番号が設定されます。

！ヒント

変更した暗証番号を忘れてしまったときでも、「8888」を暗証番号として使うことができます。

DVD優先再生

DVDオーディオには、DVDビデオのコンテンツが含まれているディスクがあります。お買い上げ時の設定で本機は優先的にDVDオーディオを再生しますが、DVDビデオのコンテンツを再生したい場合に設定を変更してください。

DVD-AUDIO（オーディオ）：
DVDオーディオのコンテンツを優先して再生するときに選択します。　（お買い上げ時の設定）

DVD-VIDEO（ビデオ）：
DVDビデオのコンテンツを優先して再生するときに選択します。

SACD優先再生

SACDには、2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアがあります。またハイブリッドディスクには、通常のCDプレーヤーで再生できるCDエリアがあります。ここでは優先して再生するエリアを設定することができます。

2ch（チャンネル）エリア：
2チャンネルエリアを再生します。

Multi ch（マルチ チャンネル）エリア：
マルチチャンネルエリアを再生します。
（お買い上げ時の設定）

CDエリア：
CDエリアを再生します。

自動電源オフ

「自動電源オフ機能」とは、再生停止後何も操作せずに20分経過すると、本機が自動的にスタンバイ状態になる機能です。

オン：自動電源オフ機能が働きます。

オフ：自動電源オフ機能は働きません。
（お買い上げ時の設定）

DivXレジストレーション

本機でDivX VOD（ビデオ オン デマンド）を再生するときに必要な登録コードを表示します。
DivX VODファイルの配信先に対して登録コードが必要な場合は、表示されたコードをお使いになりダウンロードしてください。ダウンロードしたDivX VODファイルはCD-Rに書き込み、本機で再生してください。

ご注意

DivX VODコンテンツはDRM保護（コピープロテクト）されており、ダウンロードしたときの登録コードと本機のコードが一致しないときは、再生できません。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

主電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

自動的に電源がオフになる

- 自動電源オフ機能が働いているときは、再生停止後何も操作せずに20分経過すると、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。（53）

音に関して

音声が出ない

- 接続コードがしっかり差し込まれいるか確認してください。ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- 接続が正しいか確認してください。（18～26）
- AVアンプやテレビの入力が正しく選ばれているか確認してください。
- SACDや96kHzより高いサンプリング周波数のDVDオーディオはデジタル出力しません。アナログ接続をしてください。（20）
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。

音質に関して
- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

HDMI出力端子から音が出ない（HDMIで困ったときは、58ページも参考にしてください。）

- 「HDMI出力設定」が「オフ」になっているときは「オン」に設定してください。（42、46）
- 「デジタルオーディオ出力」設定が「オフ」になっていると、HDMI出力端子から音が出ません。「オール」または「PCM」に設定してください。（20、48）
- AVアンプやテレビのDVI端子と接続しているときは音声は出ません。DVI端子との接続では映像のみを伝送します。（24）
- AVアンプやテレビのHDMI設定が「DVI」になっているときは「HDMI」に変更してください。
- SACDを再生しているときはHDMI出力できません。アナログ接続をしてください。（20）
- テレビと接続しているときやAVアンプが88.2kHz以上のサンプリング周波数のPCMに対応していないときは、「リニアPCM出力」設定を「ダウンサンプリングオン」にしてください。（48）
- テレビと接続しているときやAVアンプがドルビーデジタルやDTSの信号に対応していないときは「デジタルオーディオ出力」設定を「PCM」にしてください。（20、48）

デジタル（光/同軸）出力端子から音が出ない

- 「デジタルオーディオ出力」設定が「オフ」になっていると、デジタル出力端子から音が出ません。「オール」または「PCM」に設定してください。（20、48）
- SACDを再生しているときはデジタル出力できません。アナログ接続をしてください。（20）
- テレビと接続しているときやAVアンプが88.2kHz以上のサンプリング周波数のPCMに対応していないときは、「リニアPCM出力」設定を「ダウンサンプリングオン」にしてください。（48）
- テレビと接続しているときやAVアンプがドルビーデジタルやDTSの信号に対応していないときは「デジタルオーディオ出力」設定を「PCM」にしてください。（20、48）

映像に関して

映像がテレビ画面に表示されない

- 本機を接続したテレビの入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中に同じ画面が15分間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。この場合、Play（プレイ）▶ボタンを押して解除してください。（52）

HDMI出力端子から映像が出ない（HDMIで困ったときは、58ページも参考にしてください。）

- 「HDMI出力設定」が「オフ」になっているときは「オン」に設定してください。（42、46）
- テレビが720pや1080iの解像度に対応していないときは、「解像度」の設定を「480p」にしてください。（42、47）
- 接続したAVアンプやテレビがHDCPに対応しているか確認してください。対応していない場合、HDMI出力できません。AVアンプを通して接続しているときは、直接テレビに接続してみてください。

HDMIの画像が乱れる（HDMIで困ったときは、58ページも参考にしてください。）

- 本機を一度スタンバイ状態にして、接続を確認してから電源を入れ直しください。
- 「解像度」の設定を変えてみてください。（42、47）

コンポーネント端子から映像が出ない

- HDMIの「解像度」設定を「480p」以外に設定しているときは映像が出力されません。コンポーネント端子から映像を出力するときは「480p」に設定してください。（42、47）
- テレビがプログレッシブ出力に対応していないときは、「HDMI出力設定」を「オン」に設定していたり、「プログレッシブ設定」を「プログレッシブ」に設定していると映像出力できません。「HDMI出力設定」を「オフ」にして、「プログレッシブ設定」を「インターレース」に設定してください。（42、46、47）

Sビデオ端子やビデオ（コンポジット）端子から映像が出ない

- HDMIの「解像度」設定を「480p」以外に設定しているときは映像が出力されません。Sビデオ端子やビデオ端子から映像を出力するときは「480p」に設定してください。（42、47）

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキやビデオ内蔵テレビ経由で接続した場合は、コピー防止機能が働きますので、直接モニター/テレビに接続してください。（21）
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合いが変わったりする場合があります。また、ディスクによっては解像度が高いため画像ノイズが出る場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して最適な状態にしてください。

画面が縦または横に伸びている

- 「TV画面形状」の設定がテレビと合っていない可能性があります。「基本設定」もしくは「映像」の設定で変更してください。（27､46）
- ビューモードを「標準」にしてください。（46）

テレビ画面に縞のようなノイズが入る

- テレビのアンテナ線と本機の電源コードや接続コードを離してください。

ディスクの再生に関して

ディスクが再生できない

- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。（8～11）
- リージョン番号を確認してください。（8）
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除またはレベル変更を行ってください。（52）
- 本機はNTSCに対応していますので、PALのディスクを再生すると画像が正しく再生されません。

再生が始まるまでに時間がかかる

- DVDや曲数の多いCDやMP3ディスクの場合読み込みに時間がかかることがあります。
- 「HD JPEGモード」が「オン」に設定されているときは、JPEGの表示に時間がかかることがあります。（47）

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。（11）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等を解除してください。（37～39）
- ビデオCDをPBC再生しているときは、PBCを解除してください。（33）

希望する言語、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていないときは、希望する言語で出力できません。

DVDやビデオCDを再生すると、ディスクの途中から再生が始まる

- DVDのリジューム機能が働いています。ディスクの最初から再生したいときは、Stop（ストップ）■ボタンを2回押してから再生してください。

困ったときは

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3/WMA/JPEG/DivXの再生に関して

ディスクを再生できない

- 記録したディスクが本機で対応しているか確認してください。（9、10）
- ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。（9、10）

DivXの映像が出ない

- DivXファイルがDivXバージョン5、4または3の「Home Theater」モードでエンコードされているか確認してください。

DivXの音声が出ない

- 音声コードが対応していない可能性があります。

ディスクに記録されているトラック（ファイル）を選択できない

- 規格以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。（9、10）
- 本機が認識・再生できるフォルダ数、トラック数には制限があります。フォルダは255フォルダまで認識・再生できます。フォルダ内のトラックは255トラックまで認識・再生できます。（9、10）
- 本機はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。（9、10）

DRMコピープロテクト*のかかったWMAファイルは再生できません

＊DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器、アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。（10）

DVDオーディオの再生

DVDオーディオのマルチチャンネル音声が再生できない

- AVアンプと5.1チャンネル接続をしてください。（23）

DVDオーディオの中に収録されているDVDビデオが再生できない

- 優先再生が「DVD-AUDIO」に設定されている。「DVD-VIDEO」にしてください。（53）

SACDの再生

SACDの再生エリアを選べない

- Audio（オーディオ）ボタンで切り換えてください。ディスクによってはCDエリアがないものやマルチチャンネルエリアがないものもあります。（33）

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（17）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

RI接続に関して

RIシステム機能が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。（26）

設定に関して

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。または、電源が入っている状態でStop（ストップ）■ボタンを10秒間押し続けて「RESET（リセット）」と表示させてください。

■本機を初期設定（お買い上げ時の状態）に戻すには

1. ディスクを取り出し、表示部に「NO（ノー） DISC（ディスク）」と表示させる
2. Stop（ストップ）■ボタンを押しながら、Standby（スタンバイ）/On（オン）ボタンを押す
   「INITIALIZE（イニシャライズ）」と表示されたあと、「COMPLETE（コンプリート）」と表示されます。

HDMIで困ったときは

HDMI接続しているときに映像や音が出ないときは、以下の方法で解決のヒントを確認することができます。

本体のDisplay（ディスプレイ）ボタンを10秒間押し続ける

Display

前面パネルの表示部にメッセージが表示されます。
下の表で解決のヒントを確認してください。
* ただし、表示されるメッセージは最も可能性のある1種類だけです。
他にも原因がある可能性がありますので「困ったときは」や接続機器の取扱説明書もご覧ください。

■基本的なメッセージ

MSG ID 001 MSG ID 015	●本機や接続機器が正しく動作しているか確認してください。 ●HDMI以外の原因も考えられます。本機の対応するディスクを再生しているか確認してください。
MSG ID 002	●「HDMI出力設定」が「オフ」になっています。「オン」に設定してください。（42、46）
MSG ID 003 MSG ID 004	●正しくHDMI接続されているか確認してください。（24） ●接続機器が正しい入力を選んでいるか、接続機器のHDMI設定が正しく設定されているか確認してください。 ●上記を確認しても正常に動作しない場合は、一度本機と接続機器の電源を切り、再度接続しなおしてください。
MSG ID 005 MSG ID 006 MSG ID 007	●HDMI接続の認証に失敗しています。一度本機と接続機器の電源を切り、再度接続しなおしてください。 ●接続機器がHDCPに対応しているか確認してください。HDCP非対応の機器と接続してもHDMI出力できません。 ●HDMI-DVI変換接続をしているときは、音声は出力されません。

■映像に関するメッセージ

MSG ID 008	●接続機器が720pや1080iの解像度に対応していない可能性があります。HDMIの「解像度」を480pや自動に設定してください。（42、47）
MSG ID 009	●「解像度」が「自動」に設定されています。テレビの推奨解像度の情報が間違っている可能性があるので、480p、720p、1080iのいずれかに設定してみてください。（42、47）

■音声に関するメッセージ

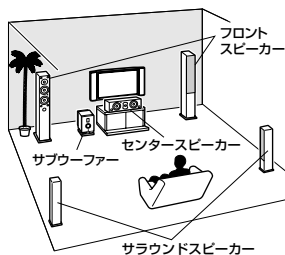
MSG ID 010	●「デジタルオーディオ出力」設定を「オール」または「PCM」に設定してください。（48） ●DVDオーディオによっては、デジタル出力やHDMI出力できないことがあります。アナログ接続してください。（23）
MSG ID 011 MSG ID 014	●接続機器が88.2kHz以上のサンプリング周波数のPCMに対応していない可能性があります。「リニアPCM出力」設定を「ダウンサンプリングオン」に設定してください。（48）
MSG ID 012 MSG ID 013	●接続機器がドルビーデジタル信号に対応していない可能性があります。「デジタルオーディオ出力」設定を「PCM」に設定してください。（48）
MSG ID 016 MSG ID 017	●接続機器がDTS信号に対応していない可能性があります。「デジタルオーディオ出力」設定を「PCM」に設定してください。（48）
MSG ID 020	●SACDを再生したときはHDMIから音声が出力されません。アナログ接続してください。（23）

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成しています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

5.1chサラウンド
視聴位置前方に設置するセンタースピーカー1つ、フロントスピーカー2つ、横または後方に設置するサラウンドスピーカー2つで5ch（チャンネル）、サブウーファーは他のスピーカーよりも再生できる音域が10分の1のため、この6本のスピーカーを使って再生することを5.1chサラウンドと言います。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差のことです。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
ドルビー社によって開発されたデジタルマルチチャンネル音声規格。モノラルから5.1チャンネルまでに対応しています。視聴環境の制約に対応してダイナミックレンジを調整するダイナミックレンジ圧縮、スピーカーの数に合わせて出力チャンネル数を最適化するダウンミックスなど数々の機能が採り入れられています。DVD-Videoの標準音声、米国DTVの標準音声として採用されています。

ドルビープロロジック（Dolby Pro Logic）
ドルビー社によって開発されたマトリックスタイプのサラウンドデコード技術。
2チャンネル（Lt/Rt）にマトリックスエンコードされた4チャンネル（L/C/R/S）信号を方向性強調を用いてもとの4チャンネル信号に復元します。センターチャンネルスピーカーを使用することで、正面で視聴していなくても画面からセリフが聞こえるようになります。

パレンタルロック（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものです。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータのことです。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できます。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中にStop（ストップ）ボタンを押した位置を記憶し、Play（プレイ）ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能です。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact（コンパクト） Disc（ディスク）-Recordable（レコーダブル））
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

用語集

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DivX
画像の劣化が少ないデジタルビデオ圧縮技術。
複数の字幕や音声を記録することができます。

DTSデジタルサラウンド（DTS Digital Surround）
米国のDTS社が開発したデジタルサラウンドフォーマット。コヒレントアコースティックス符号化と呼ばれる算法を使用し、圧縮率は通常4:1程度と比較的低くなっています。映画館ではフィルムにプリントされたタイムコードに同期してCD-ROMに記録された音声が再生されます。

DVDオーディオ
DVDビデオ規格をベースに音質を特化したディスクです。音質を良くするために、192kHzサンプリングに対応しています。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスクです。
片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVD-R(Digital Versatile Disc-Recordable)
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマットです。

DVD-RW(Digital Versatile Disc-ReWritable)
書き換え可能なDVDフォーマットです。

HD（High Definition）
高精細度画質での放送のこと（デジタルハイビジョン放送）。デジタル圧縮技術により、高画質な映像が視聴できます。映像信号の走査線数は「1125i(1080i)」と「750p(720p)」「525p(480p)」で、従来の標準画質の走査線の数の約2倍ですので、画像のきめ細かさが増します。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）
放送のデジタル化などの変化に対応して、家庭内で セットトップボックスやディスプレイ間をデジタル接続することを目的として策定された、インターフェース規格です。
従来のDVI（Digital Visual Interface）規格をさらに発展させて、オーディオ信号およびコントロール信号を伝送する機能を追加しています。従来は機器間の接続に、ビデオ、オーディオ、コントロールの各信号用に複数のケーブルを使用していましたが、HDMIケーブルを1本接続するだけで、HDMI端子対応の機器間で映像や音声をデジタルで伝送することができます。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS（国際電気通信連合: 旧CCITT）とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオCDはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されています。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はMPEG-1と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つです。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

SACD（スーパーオーディオCD）
CDの規格をベースに、多くのデータが記録された高音質規格です。SACDには、1層ディスク、2層ディスク、ハイブリッドディスクの3種類があります。
ハイブリッドディスクはSACDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

主な仕様

ビデオ部

映像出力/インピーダンス：1.0V（p-p）、75Ω、同期負、ピンジャック
S映像出力/インピーダンス：（Y）1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン
（C）0.286V(p-p)、75Ω
コンポーネント映像出力/インピーダンス：（Y）1.0V(p-p)、75Ω
(PB/CB)、(PR/CR)、0.7V(p-p)、75Ω、ピンジャック、BNCジャック
コンポーネント映像周波数特性：5Hz〜50MHz
HDMI（Out）：19ピン

オーディオ部

音声周波数特性：DVDオーディオ　4Hz〜88kHz（192kHz）
SACD　4Hz〜50kHz
DVDリニア　4Hz〜22kHz（48kHz）
4Hz〜44kHz（96kHz）
CDオーディオ　4Hz〜20kHz（44.1kHz）
SN比：106dB
ダイナミックレンジ：96dB
全高調波歪率：0.003%（1kHz）
ワウフラッター：測定限界以下（±0.001% W.PEAK、EIAJ）
デジタル出力電圧/インピーダンス：音声出力（Digital/Optical）−22.5dBm
音声出力（Digital/Coaxial）0.5V（p-p)/75Ω
アナログ出力電圧/インピーダンス：音声出力(FRONT D.MIX/CENTER/SUBWOOFER) 2.0V/440Ω
音声出力（SURROUND1,2）　2.0V/440Ω（SURR MODE 1）
1.4V/440Ω（SURR MODE 1＋2）

総合

電源・電圧：AC100V・50/60Hz
消費電力：15W
待機時電力：0.4W
最大外形寸法：435(幅)×81(高さ)×312(奥行)mm
質量：3.7kg
許容動作温度/ 湿度：5℃〜35℃/50%〜85%
再生可能ディスク：DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-R*(ビデオモード)、DVD-RW*(ビデオモード/VRモード)*、DVD＋R*、DVD＋RW*、ビデオCD、SACD、CD-R*、CD-RW*、MP3、WMA、JPEG、DivX

*ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。また、レコーダーやディスクによっては、再生できない場合もあります。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　DSP-6.7
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO®

オンキヨー ご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

■ 製品についてのご相談、カタログのご請求

お客様ご相談窓口	コールセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ WEB　:　http://www.jp.onkyo.com/support/ ＊ TEL　:　050－3161－9555　＊ FAX　:　072－831－8124 ＊ 郵便　:　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町２－１ オンキヨー株式会社　コールセンター

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページ。　→ http://www.jp.onkyo.com/
快適なオーディオライフをサポートするセレクトショップ。　→ http://www.e-onkyo.com/

修理のご依頼は、取扱説明書の「困ったときは」、「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。
転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

■ 修理についてのご相談、ご依頼

修理窓口	首都圏サービスセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ TEL　:　050－3161－9555（コールセンター）　＊ FAX　:　03－5819－2940 ＊ 住所　:　〒130-0004　東京都墨田区本所２丁目16－5　6階
	大阪サービスセンター　受付　9:30～17:30（土・日・祝、弊社休業日を除く） ＊ TEL　:　050－3161－9555（コールセンター）　＊ FAX　:　072－831－8124 ＊ 住所　:　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町２－１

2006年6月現在　お客様ご相談窓口・修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。
（ http://www.jp.onkyo.com/support/ で最新の名称、所在地、電話番号をご覧いただけます）